

平成19年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		民営化宿泊施設維持						整理番号	83	枝番号	
担当部課名	区民生活部管理課	コード	050101		連絡先電話番号	3754		昨年度整理番号	86	昨年度枝番号	
係名	庶務係		上位施策名						No		
予算事業名	民営化施設維持		コード	12300		生涯学習環境の整備・充実				62	
事務事業の概要	事業開始年度		<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成		14 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野 <input type="checkbox"/> 政策番号 <input type="checkbox"/> 施策番号 <input type="checkbox"/> 事業コード				
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業		根拠法令等				
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 区内在住者				(1) 杉並区貸与宿泊施設区民宿泊費補助金交付要綱 (2) 財産の使用賃借及び宿泊事業に関する契約 (3)				
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		民営化に伴う区民サービスの低下を招かないための宿泊費補助金の支給。4施設(湯の里「杉菜」、コニファーいわびつ、富士学園、弓ヶ浜クラブ)についての、大規模修繕及び土地等に関する管理調整。				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)		多くの区民が低料金で利用し、心身ともにリフレッシュできる。		
	活動指標名(式)		(1) 区民利用者数 (2)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標		(1) 4施設平均の客室稼働率(利用者 / 客室数) (2) 4施設平均の定員稼働率(利用者 / 定員数)		
指標	区分	単位	16年度実績	17年度		18年度		19年度計画	目標値22年度	目標値に対する18年度の達成率%	
	活動指標(1)	人	31,963	39,550	29,422	39,550	27,557	39,500	39,500	69.8	
	活動指標(2)										
	成果指標(1)	%	56	70	58	70	59	70	75	78.7	
	成果指標(2)	%	37	50	37	50	37	50	60	61.7	
総事業費・コスト把握	事業費	千円	97,765	131,405	105,127	136,506	104,055	123,217	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)		
	(内) 投資的経費等	千円									
	(内) 委託費	千円	1,600	1,600	1,600	1,600	1,600	1,600			
	職員数(常勤 非常勤)	人	1.25	1.30	1.50	1.30	1.37	1.30			
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	11,375	11,778	13,590	11,778	12,412	11,778		
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0	0		
	総事業費 + +	千円	109,140	143,183	118,717	148,284	116,467	134,995			
	単位あたりコスト(-)÷	円	3,415	3,620	4,035	3,749	4,226	3,418			
	財源	受益者負担分	千円	8,227		2,984		6,785			
		国・都等からの支出金	千円								
特定財源計 +		千円	8,227	0	2,984	0	6,785	0			
差引: 一般財源 -		千円	100,913	143,183	115,733	148,284	109,682	134,995			
受益者負担比率 ÷	%	7.5	0.0	2.5	0.0	5.8	0.0				
18年度の主な取組み	内 容		規 模		単位	事業費(千円)					
	利用区民補助金					70,076					
	施設維持管理(4施設)					18,154					
	施設大規模修繕(コニファーいわびつ、弓ヶ浜クラブ)					15,825					
	その他 ()					0					

平成19年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 83 枝番号

18年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 18年度達成率%	69.7	活動指標(2)の 18年度達成率%		18年度予算 執行率%	76.2
		区民利用が減少している。					
前年度の改革案の取り組み状況 (19年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		各宿泊施設の稼働率の向上、利用者に対するサービス向上を目指し、それぞれの事業者と協力し、PR活動の充実等を実施している。					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	平成14年度から民営化し、施設を無償貸与した上で経営のすべてを施設借受事業者が行っている。3年の当初契約期間後、各社とも更新を希望し、一部契約内容を見直した上で3年間の更新契約を行った。経営状況は、各社とも事業者の努力により改善傾向にある。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	料金設定や設備に対して苦情や要望があるが、借受事業者の対応により改善されている。また、その数も減少している。					
	今後の予測	経年とともに、施設・設備の維持修繕費が増大しており、区が負担する大規模修繕にかかる経費の増が見込まれる。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 中(理由)	理由:生涯学習、余暇生活のために低料金で必要なサービスを区民に提供している。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由) 成果向上のための方策	理由または具体的内容:民営化した施設の事業者は、それぞれ集客努力をしている。区の役割は、区民利用に対する補助金の支出及び広報誌等でのPR協力であり、既に事業者の意思を最大限に尊重し実施している。 理由または具体的内容:					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容:施設の利用者は直接施設に宿泊料を支払っており、区が主体的に受益者負担について判断を行う余地はない。民営化にあたっては宿泊補助金の支出を行うことで区民サービスの低下を抑えたが、経営状況によっては受益者負担の増加も予想される。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容:民営化によりコストの削減を行った結果の事業であり、これ以上は当面見込めない。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者(^)	協働等による成果と課題 :民営化し、施設を無償貸与した上で経営のすべてを施設借受事業者が行っている。課題としては、コストの削減により区民サービスの低下が起きないように事業者にも努力してもらう。また、区と施設借受事業者の連絡を密に取り各施設の状況に応じて対応していく。					
	(3) 協働等の形態 民営化(具体的内容)						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうするか) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 民営化事業を円滑に継続するため、各施設の状況に応じた対応が必要である。区としては施設のPR方法を検討するなどの対応を行っていく。	
20年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 施設の経年劣化による修繕費等の増大と、コスト削減とサービス提供のバランスが阻害要因である。	
	(1) 20年度予算見積の方向性	<input checked="" type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由 大規模修繕が必要となる施設があるため、大幅な増となる見込みである。	

平成19年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名			社会教育委員の会議					整理番号	776	枝番号			
担当部課名			教育委員会事務局社会教育スポーツ課		コード	601601	連絡先 電話番号	1662	昨年度 整理番号	783	昨年度 枝番号		
係名			管理係		上位施策名					No			
予算事業名			社会教育委員		コード	80600	生涯学習環境の整備・充実					62	
事務事業の概要	事業開始年度			○昭和 ●平成 元 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野		政策番号		施策番号		事業コード	
	事業の種類			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		<input type="checkbox"/> 行革計画事業		<input type="checkbox"/> 協働計画事業					
	対象			<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 社会教育行政全般に広く団体や地域の意見等を反映させるための諮問機関		根拠法令等 (1) 社会教育法第13条～18条 (2) 杉並区社会教育委員の設置に関する条例 (3) 杉並区社会教育委員の設置に関する条例施行規則							
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)			社会教育関係団体への補助金交付に対する意見を述べる。教育委員会の諮問に応じ答申したり、建議・提言などを教育委員会に対して行う。									
	活動指標名(式)			事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 社会教育に関する諸計画を立案する。教育委員会の諮問に応じ意見を述べ、社会教育関係団体・社会教育指導者に対し、意見や指導、助言を与え、生涯学習・社会教育の振興を図る。									
成果指標名(式)			(代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 社会教育委員の提言等における施策数 (2)										
			(1) 会議開催回数										
			(2) 延べ会議出席委員数										
区分		単位	16年度実績		17年度		18年度		19年度計画	目標値 22年度	目標値に対する18年度の達成率%		
			計画	実績	計画	実績	計画	実績					
指標	活動指標(1)		回	10	12	9	12	10	12	12	83.3		
	活動指標(2)		人	77	108	79	108	71	108	108	65.7		
	成果指標(1)		件	5	5	2	2	3	2	2	150.0		
	成果指標(2)												
総事業費・コスト把握	事業費		千円	971	1,585	1,042	1,886	994	1,886	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)			
	(内) 投資的経費等		千円										
	(内) 委託費		千円										
	職員数(常勤 非常勤)		人	0.75	0.75	0.74	0.74	0.73	0.73	0.73			
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	6,825	6,795	6,704	6,704	6,614	6,614			
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0	0	0			
	総事業費 + +		千円	7,796	8,380	7,746	8,590	7,608	8,500				
	単位あたりコスト(-)÷		円	779,600	698,333	860,667	715,833	760,800	708,333				
	財源	受益者負担分		千円									
		国・都等からの支出金		千円									
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0	0					
差引: 一般財源 -		千円	7,796	8,380	7,746	8,590	7,608	8,500					
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
18年度の主な取組み			内 容					規模	単位	事業費(千円)			
			社会教育委員の会議開催					10	回	852			
			運営事務費					1	式	142			
			その他 ()							0			

平成19年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 776 枝番号

18年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	活動指標(1)の 18年度達成率%	83.3	活動指標(2)の 18年度達成率%	65.7	18年度予算 執行率%	52.7
	社会教育委員の会議は、必要に応じて招集されるため、18年度は予定回数を下回った。					
前年度の改革案の取り組み状況 (19年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	前期答申をふまえ、社会教育スポーツ課の主要事業をもとに、調査検討した内容を、「自分たちで自分のまちをつくる」ためのこれらに向けて - というテーマで、報告と提言を行った。また、委員改選にあたり、選考方法を検証した結果、従来より幅広い層からの選考ができた。					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	教育基本法の改正に伴い、家庭・地域・学校の連携の「かなめ」としての社会教育の位置づけがより明確になった。本会議でも家庭教育力の向上、学校と地域の結びつき等について、話し合った。				
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	広報、ホームページ等で周知しているものの、社会教育委員に対する認知度は低いのが現状である。社会教育委員の活動や提言等に対する情報提供も不十分である。				
	今後の予測	今後、増加していく団塊の世代や高齢者が社会教育に関心を持ち、地域に密着した社会教育の取り組みに参加していくことが予想される。				
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由:任期(2年)ごとに社会教育全般にわたり、答申や提言、意見等を受けている。				
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できる(へ)	理由または具体的内容:				
	成果向上のための方策 その他(具体的内容)	理由または具体的内容:答申や提言に対する取組みの検証や社会教育関係団体との意見交換など、社会教育委員の会議のあり方を示すための工夫が必要である。				
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容:委嘱委員制度という性格上、受益者負担はない。				
(4) コストを下げる余地はあるか ある [その他] (具体的内容)	理由または具体的内容:情報収集等の手段が充実し、資料入手が容易になったため、委員の他都市行政視察について、当分の間見送る。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 実現していない(実現は困難)(具体的内容)	協働等の今後のあり方:	<input type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input checked="" type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手	協働等による成果と課題:教育委員会の附属機関という性格上、実現は困難である。				
	(3) 協働等の形態					

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 より地域に密着した社会教育行政を実現するためにも、区民公募制の果たす役割は大きい。今後も選考方法を充実させていく。 3月に出した報告と提言について、今後の社会教育行政のあり方に反映させていく。	
20年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 区民公募制の応募者が少なく、年齢・性別にも偏りが見られる。広報活動に力を入れ、より幅広い分野、年齢層からの委員選考が必要である。	
	(1) 20年度予算見積の方向性 <input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし	(2) 理由 教育委員の附属機関として設置されており、定められた任期・回数の中で活動していくため、予算の増減はない。

平成19年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名			生涯学習振興室維持運営					整理番号	777	枝番号					
担当部課名			教育委員会事務局社会教育スポーツ課		コード	601601	連絡先電話番号	1662	昨年度整理番号	784	昨年度枝番号				
係名			管理係		上位施策名				No						
予算事業名			生涯学習の推進		コード	81000	生涯学習環境の整備・充実				62				
事務事業の概要	事業開始年度			○ 昭和 ● 平成		7 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野		政策番号		施策番号		事業コード	
	事業の種類			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業							
	対象			<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他				根拠法令等		(1) 教育基本法3・12条 (2) 社会教育法3・5・11条 (3) 杉並区生涯学習振興室要綱					
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)			生涯学習振興室(ゆうゆうハウス)2室の維持運営 ・西田(個人学習室1室、会議室2室) ・杉九(個人学習室1室、会議室3室(分割使用))				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)		学校の余裕教室を有効活用し、区民に身近な生涯学習の場と機会を提供する。					
	活動指標名(式)			(1) 会議室利用回数 (2) 個人学習室利用者数				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標		(1) 会議室利用率 (2) (代)個人学習室利用者数 ÷ 個人学習室席数、施設の維持費/面積					
指標	区分		単位	16年度実績	17年度		18年度		19年度計画	目標値22年度	目標値に対する18年度の達成率%				
	活動指標(1)		回	1,277	1,400	1,396	1,400	1,216	1,450	1,500	81.1				
	活動指標(2)		人	19,715	25,000	19,531	25,000	19,537	25,000	30,000	65.1				
	成果指標(1)		%	28	29	26	29	25	30	31	80.6				
	成果指標(2)		%	80	95	75	95	74	95	114	64.9				
総事業費・コスト把握	事業費		千円	15,926	17,758	17,194	17,646	16,942	17,486	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)					
	(内) 投資的経費等		千円	0	0	0	0	0	0						
	(内) 委託費		千円	13,670	14,925	14,798	14,813	14,678	15,110						
	職員数(常勤 非常勤)		人	0.60	0.60	0.60	0.60	0.62	0.60	㎡あたりの経費: 16 24千円 17 26千円 18 26千円 19 27千円(予算)					
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	5,460	5,436	5,436	5,436	5,617	5,436						
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0	0						
	総事業費 + +		千円	21,386	23,194	22,630	23,082	22,559	22,922						
	単位あたりコスト(-)÷		円	16,747	16,567	16,211	16,487	18,552	15,808						
	財源	受益者負担分		千円	62	96	97	72	100			73			
		国・都等からの支出金		千円	0	0	0	0	0			0			
特定財源計 +		千円	62	96	97	72	100	73							
差引: 一般財源 -		千円	21,324	23,098	22,533	23,010	22,459	22,849							
受益者負担比率 ÷		%	0.3	0.4	0.4	0.3	0.4	0.3							
18年度の主な取組み			内 容					規模	単位	事業費(千円)					
			事務処理委託					1	式	13,757					
			光熱水費					1	式	1,289					
			建物等管理委託料					1	式	920					
			建物等修繕費					1	式	344					
			その他 (維持管理費、通信運搬費等)							632					

平成19年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 777 枝番号

18年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	活動指標(1)の 18年度達成率%	86.9	活動指標(2)の 18年度達成率%	78.1	18年度予算 執行率%	96.0
	光熱水費、消耗品等の節約					
前年度の改革案の取り組み状況 (19年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	光熱水費削減により予算減額。西田小学校校門のオートロック設置による利用者対応のため、1時間分の委託費を増加。					

事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	事業展開と学習の場の提供を目的として設置されたが、会議室・個人学習室の場の提供のみの事業になっている。利用者の利便を図るため駐輪場の整備、通年開館、個人学習室での電子機器の利用の許可を実施。児童の安全対策のための学校防犯カメラのモニターの設置、小学校校門のオートロック錠設置による利用者への対応(西田)など、学校の安全対策に関する負担が大きくなっている。会議室(杉九生活科室)の学校側の年間定期利用が増えている。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	区内図書館では学習が出来ないので、近くで気軽に学習できる場を増やしてほしい。電源利用を許可してほしい。複数の利用者が相談しながら学習できる場がほしい。
	今後の予測	個人学習室の需要は高いが、利便性の問題から2ヶ所で区内全域の利用者の需要に応えることはできない。景気回復で就職率の上昇から資格試験への受験者等の減少などによる若年層の利用者の減少が見込まれる一方で、団塊世代の利用増も見込まれる。また、今後、学校と地域の連携や学校施設全体の有効利用のあり方など、学校を取り巻く環境の変化に注意を払う必要がある。

事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいのか 貢献度 大(理由)	理由: 個人の自主的な学習を行う場の需要は非常に高い。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる() 成果向上のための方策 その他(具体的内容)	理由または具体的内容: 理由または具体的内容: 施設の利用率向上のため、効果的なPRを実施するとともに、児童の安全確保を考慮した上で、他の施設にはない個人の利用に重点をおいた施設のあり方や多様化する学習環境への対応を考える。また、会議室利用については併設する学校の関係団体の活動拠点として活用も検討する。
	(3) 受益者負担の見直し余地は ある(具体的内容)	理由または具体的内容: 施設利用料など(会議室の光熱水費)の徴収
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 平成14年度に人件費、清掃経費を削除した。利用者にとって快適な施設環境と安全を維持するには、これ以上コストを下げることはできない。

協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 一部実現している(^)	協働等の今後のあり方: <input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄
	(2) 協働等の相手 社団法人・財団法人等公益団体(^)	協働等による成果と課題 : 運営業務委託、清掃及び機器保守委託 運営業務をシルバー人材センターに委託することにより、区内の高齢者の就労の場となっている。
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容)	

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 常に不特定多数の利用者が出入りするような利用は子どもたちの安全の確保からも慎重に行う必要がある。身近なところに施設をもっと増やして欲しいという要望については、学校開放施設に限定しないで実現可能な方法・内容を考える。事業開始当初、事業展開と学習の場の提供を目的として設置されたが、会議室は他の集会施設との差別化を図るため、また、生涯学習活動の振興を目的とした利用を促すため、団体ではない2~10人程度の他の施設では活動の場が少ない小グループの利用について検討していく。複数の個人の活動を支援することにより、学習を深めたり、地域に広がる活動のきっかけ作りの場としてもらう。	
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 学校の余裕教室を利用した施設であり、安全性の確保などの観点から利用上の制約がある。 個人利用を重点にした設備面の改装が必要となる。 学校以外の場所での新規施設の開設については、他部課との協議・調整が必要である。施設の有効利用をするには、施設のあり方について改めて検討する。	
20年度方針	(1) 20年度予算見積の方向性 <input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減な <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし	
	(2) 理由 現状の2施設では、区内全域の利用者の需要を十分にまかなえていないため、余裕教室利用も含め、実現可能な方法・内容を考える。会議室についても他の集会施設との差別化を図った利用を検討する。	

平成19年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		区内大学等との連携協働事業				整理番号	780	枝番号				
担当部課名		教育委員会事務局社会教育スポーツ課		コード	601601	連絡先電話番号	内線1673	昨年度整理番号	昨年度枝番号			
係名		管理係		上位施策名				No				
予算事業名		生涯学習の推進		コード	81000	生涯学習環境の整備・充実				62		
事務事業の概要	事業開始年度		○昭和 ●平成		16年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業					
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等		(1) 教育基本法第7条 (2) 地方教育行政の組織及び運営に関する法律第23条 (3) 杉並区と区内高等教育機関との連携協働に関する包括協定書					
	対象		<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)		区内大学・短期大学が、区と連携協働しながら、地域における様々な取組みにおいて貢献できるように推進していく。					
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		区と区内5大学等が「杉並区と区内高等教育機関との連携協働に関する包括協定書」に拠る推進協議会を設け、地域や行政に関わる具体的な取組みについて検討し、必要な場合は個別に覚書を交わしながらすすめる。		活動指標名(式)		成果指標名(式) (代)= 適当な指標がない場合の代替指標					
			(1) 延べ協議会等開催回数 (2)				(1) (代)延べ「地域-大学の交流支援ライブラリー」掲載コンテンツ数 (2)					
区分		単位	16年度実績		17年度		18年度		19年度計画	目標値22年度	目標値に対する18年度の達成率%	
指標	活動指標(1)		回	6	14	15	14	15	15	20	75.0	
	活動指標(2)											
	成果指標(1)		個	1	2	2	2	3	5	7	42.9	
	成果指標(2)											
総事業費・コスト把握	事業費		千円	0	343	67	543	394	543	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)		
	(内) 投資的経費等		千円									
	(内) 委託費		千円									
	職員数(常勤 非常勤)		人	0.00	0.30	0.30	0.30	0.31	0.30			
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	0	2,718	2,718	2,718	2,809	2,718		
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0	0	0		
	総事業費 ++		千円	0	3,061	2,785	3,261	3,203	3,261			
	単位あたりコスト(-)÷		円	0	218,643	185,667	232,929	213,533	217,400			
	財源	受益者負担分		千円	0	0	0	0	0	0		
		国・都等からの支出金		千円	0	0	0	0	0	0		
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0	0				
差引: 一般財源 -		千円	0	3,061	2,785	3,261	3,203	3,261				
受益者負担比率 ÷		%		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
18年度の主な取組み			内 容					規模	単位	事業費(千円)		
			五大学連携講座・シンポジウム開催					1	回	251		
			活字文化フェスタ参画					1	回	140		
			保育園・幼稚園研修等の連携協働に向けた懇談会開催					1	回	0		
			ボランティアに係る連携協働推進準備会開催					1	回	0		
			その他 (通信運搬費等)							3		

平成19年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 780 枝番号

18年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 18年度達成率%	107.1	活動指標(2)の 18年度達成率%		18年度予算 執行率%	72.6
		五大学連携シンポジウムの開催にあたって、パネリストの謝礼、チラシの作成等の経費の削減に努めた。					
前年度の改革案の取り組み状況 (19年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		包括協定書にもとづく取り組みに関しては、各参加機関が分担しあう形となっているため、具体的な事業等にかかる経費についての工夫は別として、協議会に参加する区としての対応の負担が必要である。					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	協定締結前後から大学が地域貢献することへの期待はさらに高まっている。また、大学生の学びや研究という観点からも杉並区というフィールドが重要となっている。区においては「自治体広報デザイン等の向上」「商店街活性化支援」「杉並図書館ネットワーク会議」等の連携事業が実現している。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	五大学連携講座・シンポジウムに参加した住民の評判は良いものの、包括協定そのものが日常的にはわかりにくい存在であることから、広く地域や区民の中に周知する必要がある。					
	今後の予測	安定したまちづくりすすめるうえで、地域にある高等教育機関は重要である。包括協定による「面」としての姿勢づくりなどを通じて、地域や住民にとって直接アプローチがしやすくなり、あらゆる場面で活かされるような関係づくりがますます必要となる。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 自律する高等教育機関が、独自に地域との関わりを深めることで、地域において区民自らが様々な課題に対する知識や理解を得ることができるようになる。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由) 成果向上のための方策	理由または具体的内容: 協議会事務局としての部分ではなく、さまざまな場面における取り組みに必要な経費はそれぞれに必要なため、事務局の経費のみでは発展しない。 理由または具体的内容:					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 協議会事務局経費については、参加機関が相応に負担しているところであるが、具体の事業にかかる受益者負担については、参加する大学等のイニシアティブですすめられるべき部分であるため。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ある [その他] (具体的内容)	理由または具体的内容: 協議会事務局を参加機関が持ち回る。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 一部実現している(^)	協働等の今後のあり方:		<input type="radio"/> 実施継続 <input checked="" type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 社団法人・財団法人等公益団体(^)	協働等による成果と課題: 区の経常業務をアウトソーシングすることとは異なるスタイルであるため、協働を高め得るには参加機関自らが行うべき部分が少なくない。					
	(3) 協働等の形態 協働[その他] (具体的内容)						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 大学等と地域との直接的な関わり合いが豊かになることで、区の直接関与が縮減することにもつながる。包括協定に参加を見合わせている大学の参加を含め、個々の大学における地域への関わる事例をすすめることで、協議会の場では個々の立場だけでは解決できない課題への対応などに絞り込まれていくようにすすめる。	
20年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 大学は個々に法人を抱え、カリキュラムについてもそれぞれが独自に編成しているため、国の大学に対する評価指標等においても地域貢献が問われるものの、具体的な取り組みにあたっては大学等と地域とのコミュニケーションが図られる中ですすめる必要がある。現在の大学等において担当窓口が明確になっていないため、体制として窓口を整備し、自主的自律的な運営を実現するよう、協議会においても研究討議をすすめる。	
	(1) 20年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減な <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
(2) 理由 協議会事務局を担う区の負担を増加することなく、具体の事業をどうすすめるかが課題であるため。		

平成19年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名			青少年委員活動の支援					整理番号	793	枝番号		
担当部課名			教育委員会事務局社会教育スポーツ課		コード	601616	連絡先 電話番号	4712	昨年度 整理番号	799	昨年度 枝番号	
係名			社会教育センター					上位施策名		No		
予算事業名			青少年教育		コード	81600	生涯学習環境の整備・充実		62			
事務事業の概要	事業開始年度			<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		40 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野 <input type="checkbox"/> 行革計画事業		政策番号	施策番号	事業コード
	事業の種類			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				<input type="checkbox"/> 協働計画事業		根拠法令等		
	対象			<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 青少年委員				(1) 杉並区教育委員会非常勤職員規則 (2) 杉並区青少年委員に関する規則 (3)				
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)			青少年委員が地域で活動を進めていく上で必要な知識の習得、また共通の認識を深めるため定例会(年6回)と研修会を開催する。				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)		青少年委員の資質を向上し、活動の幅を広げる。 地域・区教育委員会・学校を繋ぐパイプ役をより効果的に果たせるようにする。		
	活動指標名(式)			(1) 定例会出席延べ人数 (2) 研修会出席延べ人数				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標		(1) 出席延べ人数 ÷ 定例会開催回数 (2) 出席延べ人数 ÷ 研修会開催回数		
区分		単位	16年度実績		17年度		18年度		19年度計画	目標値 22年度	目標値に対する18年度 の達成率%	
指標	活動指標(1)		回	6	6	6	6	6	258	258	2.3	
	活動指標(2)		回	3	4	3	4	4	172	172	2.3	
	成果指標(1)		人	40	45	42	45	40	45	45	88.9	
	成果指標(2)		人	36	45	42	45	40	45	45	88.9	
総事業費・コスト把握	事業費		千円	5,180	5,189	4,649	6,376	5,504	5,504	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)		
	(内) 投資的経費等		千円									
	(内) 委託費		千円									
	職員数(常勤 非常勤)		人	0.63 0.50	0.75 0.33	0.75 0.30	0.80 0.30	0.70 0.20	1.10 0.30	19年度の計画にある活動指標(1)(2)の数値を、事業目標にある「委員の資質の向上」等から、よりふさわしい定例会及び研修会の出席延べ人数に変更した。 また、本変更に伴い両活動指標の単位を「人」に変更する。		
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	5,733	6,795	6,795	7,248	6,342	9,966			
		非常勤職員分	千円	1,440	954	867	849	566	849			
	総事業費 + +		千円	12,353	12,938	12,311	14,473	12,412	16,319			
	単位あたりコスト(-) ÷		円	2,058,833	2,156,333	2,051,833	2,412,167	2,068,667	63,252			
	財源	受益者負担分		千円								
		国・都等からの支出金		千円								
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0	0				
差引: 一般財源 -		千円	12,353	12,938	12,311	14,473	12,412	16,319				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
18年度の主な取組み			内 容					規模	単位	事業費(千円)		
			青少年委員報酬					42	人	4,016		
			定例会開催等(印刷費、通信費、負担金)					6	回	852		
			青少年委員研修					4	回	636		
			その他 ()							0		

平成19年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 793 枝番号

18年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	活動指標(1)の 18年度達成率%	100.0	活動指標(2)の 18年度達成率%	100.0	18年度予算 執行率%	86.3
	青少年委員の職務として関わるべき範囲での活動は既に達成されている。予算金額の内訳は委員報酬がおおよそ全体の80%余を占めており、妥当な執行状況と考えられる。					
前年度の改革案の取り組み状況 (19年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	委員各自が青少年教育に対する高い意識と使命感を保持しつつ、忙しい中で精力的に研修活動や日常の事業活動に取り組んでおり、ほぼ目的は達成されている。					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	昭和28年度に都の制度として発足した。当時は青少年関連施設が未整備の状態であった。現在は青少年を取り巻く状況も大きく変化して来ており、関連施設の整備も進んでいる。しかし、地域の教育力の低下が、青少年の凶悪犯罪の増加、低年齢化青少年の犯罪被害の増加として端的に現れている。				
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	青少年育成委員会(選出母体)との関係や「学校教育コーディネーター」との対比において、青少年委員の位置づけ、役割が不明確との声がある。				
	今後の予測	教育改革の流れの中で、地区教育委員会や地域運営学校など地域の人々の学校運営参画や地域の教育力向上が求められており、小学校区単位で委嘱している委員には、地域の総合コーディネーターとしてより一層の活躍が求められている。				
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由:小学校区での地域教育活動の推進や青少年健全育成事業の推進役となっている。				
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できる(へ) 成果向上のための方策 その他(具体的内容)	理由または具体的内容: 理由または具体的内容:子どもを取巻く環境の変化を適切に捉え活動できるよう、研修の内容や定例会での議題を工夫していく。また、青少年への指導等に当たっては、各委員の創意工夫を期待するところである。				
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容:青少年の健全育成のため、委嘱委員として行政の補助的役割等を担って活動している。委員自体は受益者ではない、いわゆる利益を享受する意味での受益者は存在しない。				
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容:制度運営の最低限度の経費であり、これ以上のコスト削減は、制度の存立に影響する。				
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 実現していない(実現は困難)(具体的内容)	協働等の今後のあり方:	<input type="radio"/> 実施継続	<input type="radio"/> 推進	<input checked="" type="radio"/> 行政直轄	
	(2) 協働等の相手	協働等による成果と課題 地域社会の中で青少年委員の自由な発想と活動を支援していく環境を整えるのは行政の役目である。				
	(3) 協働等の形態					

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 平成17年度杉並区子ども子育て行動計画や、杉並区教育ビジョンの実現に向けた推進計画を踏まえ、青少年委員制度やその活動内容については時代の変化に対応した改革を図っていく必要がある。平成19年度前半に青少年委員協議会において青少年委員活動推進会議を開催し、「青少年委員のあり方」について検討し、地域の総合コーディネーターとして多様な団体等のネットワーク化を図るための核となりうる可能性を見出していく。	
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 委員の選出方法や制度の見直し又、活動内容についての見直しには、委員を始めとして関係する学校や委員の推薦母体である青少年育成委員会の理解が必要である。	
20年度方針	(1) 20年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減な <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	現状で青少年委員は地域の教育力において大きな力を発揮していることから来年度は、従来どおりの方向性で臨む方針であるが、委員制度並びに事業の検討・見直しは引き続き必要である。

平成19年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		青少年社会参加活動推進						整理番号	794	枝番号								
担当部課名		社会教育スポーツ課		コード	601616	連絡先 電話番号	4712	昨年度 整理番号	800	昨年度 枝番号								
係名		社会教育センター		上位施策名						No								
予算事業名		青少年教育		コード	81600	生涯学習環境の整備・充実				62								
事務事業の概要	事業開始年度		○ 昭和 ● 平成		11 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野		政策番号		施策番号		事業コード					
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規		<input type="checkbox"/> 一部新規		<input checked="" type="checkbox"/> 行革計画事業		<input type="checkbox"/> 協働計画事業									
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人		<input checked="" type="checkbox"/> 世帯		<input checked="" type="checkbox"/> 団体		<input type="checkbox"/> その他		根拠法令等							
	16歳以上の青年男女とその家族等										(1) 社会教育法第5・7条 (2) 教育ビジョン推進計画 (3)							
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		・「不登校・引きこもり」等相談・支援団体との意見交換会 ・「すぎなみしゃべり場」や講座の実施 ・「出会いの機会～相談・支援団体の情報提供の場」の実施								事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 関係団体等と協働し、青少年一人ひとりが、講座等への参加をきっかけに、同世代の仲間や地域の大人等と共に活動することで、社会参加ができるようにする。							
活動指標名(式)		(1) 「すぎなみしゃべり場」開催数 (2) 意見交換会開催数								成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 「すぎなみしゃべり場」参加者延べ人数 (2) 「出会いの機会」参加世帯延べ数								
指標	区分	単位	16年度実績	17年度		18年度		19年度計画	目標値 22年度	目標値に対する18年度の達成率%								
	活動指標(1)	回	2	2	2	2	2	45	2	100.0								
	活動指標(2)	回	38	45	39	45	38	2	45	84.4								
	成果指標(1)	人	234	450	379	450	238	450	450	52.9								
	成果指標(2)	人		50	24	50	88	50	50	176.0								
総事業費・コスト把握	事業費		千円	2,420	3,314	2,940	686	483	685	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)								
	(内) 投資的経費等		千円															
	(内) 委託費		千円	2,059	2,764	2,381	350	333	250									
	職員数(常勤 非常勤)		人	0.99 0.33	1.17 0.34	1.28 0.30	0.70 0.30	0.70 0.20	0.60 0.30									
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	9,009	10,600	11,597	6,342	6,342	5,436	18年度より青少年事業の一部移管によって、「杉並青少年情報誌 Cedre」制作並びに「子ども読書活動推進」が児童青少年課の所管となったため、事業概要が変更になった。そのため、活動指標(1)並びに成果指標(1)(2)が、それぞれ「編集委員登録者数」「編集委員参加延べ人数」「すぎなみしゃべり場参加者延べ人数」から変わっている。19年度から本事業のメインである「しゃべり場」の開催数を、活動指標(1)にする。								
		非常勤職員分	千円	950	983	867	849	566	849									
	総事業費 ++		千円	12,379	14,897	15,404	7,877	7,391	6,970									
	単位あたりコスト(-)÷		円	7,448,500	7,448,500	7,702,000	3,938,500	3,695,500	154,889									
	財源	受益者負担分		千円														
		国・都等からの支出金		千円														
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0	0										
差引: 一般財源 -		千円	12,379	14,897	15,404	7,877	7,391	6,970										
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0										
18年度の主な取組み		内 容						規模	単位					事業費(千円)				
		講座の開催(ひきこもる本人と家族への支援講座、社会へ出るための自立講座)						2	講座	333								
		すぎなみしゃべり場						38	回	143								
		出会いの機会						3	回	5								
		相談・支援団体との意見交換会						2	回	2								
		その他 ()								0								

平成19年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 794 枝番号

18年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 18年度達成率%	100.0	活動指標(2)の 18年度達成率%	84.4	18年度予算 執行率%	70.4
		ほぼ計画どおりに執行された。					
前年度の改革案の取り組み状況 (19年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		区内外で若者の自立支援に関わる各団体、専門家との協働のもと、居場所づくりを実施し、関係団体とのネットワークの構築や対象者への情報提供に取り組んだ。また、親を対象とした講座を実施した。					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	不登校・引きこもり・ニート等への問題意識は年々高まっており、国や民間においても様々な施策や取り組みが行われている。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	不登校・引きこもり・ニート等の関係者(本人、家族を含む)からは、社会参加のきっかけにつながったなどの声が寄せられ、引き続き自立支援のための取り組みを行うよう強い要望がある。					
	今後の予測	将来社会を担うこととなる青少年が、様々な力を身につけるための施策は今後も変わらずに求められる。不登校・引きこもり・ニート等の数の増加、及びその「高齢化」に対応する取り組みが必要となってくる。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 不登校・引きこもり・ニート等が、他者とふれあったり学んだりすることを通して、課題を克服し、自己実現していく機会を提供することができる。また、その家族への情報提供や支援となっている。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できる(^)	理由または具体的内容:					
	成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)	理由または具体的内容: 関係団体との協働によって居場所づくりや運営者の養成、ネットワークの構築等に取り組むことで成果を向上させることができる。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 本事業は、参加者がその日の状況等に応じ気軽に参加できる仲間づくりの場である。よって、受益者負担には馴染まない。					
(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 青少年の社会参加に向け、居場所づくりやネットワークの構築等、各団体等との協働によって事業を進めており、コスト削減は適当でない。						
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 一部実現している(^)	協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(^)	協働等による成果と課題 成果・・・直接対象者と関わりを持つ様々な団体や専門家が意見交換会で話し合い、各事業に主体的に協力しているため、ネットワークが構築され、内容が充実してきている。課題・・・団体や専門家の特徴を活かしながら、一緒に取り組むための調整が課題である。また、「すぎなみしゃべり場」のような居場所づくりでは、対象者の参画も重要である。					
	(3) 協働等の形態 協働[事業協力](具体的内容)						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 将来、社会を担う青少年の育成という視点から、体験学習の場の提供や自立支援の取り組みは継続して行われるべきであるが、その進め方については、地域団体や関係団体等との協働のもと、対象者の参画も含めて行われるべきである。具体的には、活動や場の運営に対象者と支援者が共に関わり、区は会場提供や広報等必要な支援を行うものとする。 また、前年に引き続き親を対象とした講座の実施を計画する。	
20年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 現状では活動や場の運営に対する対象者の参画が十分になされていないため、支援者と協力し対象者へ働きかける。	
	(1) 20年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減な <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
(2) 理由 講座や活動を実施することにより、青少年の社会参加を支援する。また、それぞれの取り組みを充実させるべく、関係団体等と協働して、青少年の自立に向けた機会や場を提供していく。		

平成19年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		体育指導委員					整理番号	797	枝番号			
担当部課名	社会教育スポーツ課	コード	601613	連絡先 電話番号	1675	昨年度 整理番号	803	昨年度 枝番号				
係名	社会体育係	上位施策名					No					
予算事業名	社会体育振興	コード	83400	生涯学習環境の整備・充実					62			
事務事業の概要	事業開始年度	<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成	37 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業		政策番号		施策番号		事業コード	
	事業の種類	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等								
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 スポーツをする意欲はあるが、スポーツをする機会がない(少ない)区民。		(1) スポーツ振興法第19条 (2) 杉並区体育指導委員に関する規則 (3)								
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	任期2年、非常勤職員。地域スポーツ普及のための検討及び地域拠点活動やイベント(区民歩こう会(区内、郊外)、スロレク大会綱引き、キンボール等)の企画・実施などを行う。		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 日ごろ、スポーツをする意欲はあるが、スポーツをする機会がない(少ない)区民を対象に、地域で自分の体力にあったスポーツを見つけ、自主的・継続的にスポーツができるようにする。さらに、地域における人と人とのつながりを広げる。								
	活動指標名(式)	(1) 会議数及び事業実施回数 (2) 事業参加者数		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) (代)事業参加者数 (2) (代)事業参加者率 事業参加者数 ÷ 杉並区の人口								
指標	区分	単位	16年度 実績	17年度		18年度		19年度 計画	目標値 22年度	目標値対 する18年度 の達成率%		
	活動指標(1)	回	73	90	74	90	96	90	90	106.7		
	活動指標(2)	人	872	900	705	900	1,164	1,000	1,100	105.8		
	成果指標(1)	人	872	900	705	900	1,164	1,000	1,100	105.8		
	成果指標(2)	%	0.17	0.17	0.12	0.17	0.22	0.18	0.00			
総事業費・コスト把握	事業費	千円	3,455	5,669	3,930	6,161	3,918	6,198	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)			
	(内) 投資的経費等	千円										
	(内) 委託費	千円										
	職員数(常勤 非常勤)	人	0.92	0.84	0.92	0.84	0.85	0.91				
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	8,372	7,610	8,335	7,610	7,701	8,245			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0	0			
	総事業費 + +	千円	11,827	13,279	12,265	13,771	11,619	14,443				
	単位あたりコスト(-)÷	円	162,014	147,544	165,743	153,011	121,031	160,478				
	財源	受益者負担分	千円									
		国・都等からの支出金	千円									
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0	0				
差引: 一般財源 -		千円	11,827	13,279	12,265	13,771	11,619	14,443				
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
18年度の主な取組み	内 容						規模	単位	事業費(千円)			
	体育指導委員報酬等						28	名	2,304			
	体育指導委員の活動や研修に係る旅費等						1	式	301			
	体育指導委員の宿泊研修に関するバス借上料						1	台	221			
	活動に必要な備品の購入						1	式	193			
	その他 (保険料、消耗品類、負担金等)								899			

平成19年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 797 枝番号

18年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	活動指標(1)の 18年度達成率%	106.7	活動指標(2)の 18年度達成率%	129.3	18年度予算 執行率%	63.6
	体育指導委員が企画運営するウォーキング事業の参加者は、健康に対する意識の高まり等を背景に、増加傾向にある。また、体育指導委員が関わっていた地域での活動が独立し、運営を地域住民に委ねることができ、さらに、新たな地域での活動を開始するなど地域スポーツの発展に寄与している。					

前年度の改革案の取り組み状況 (19年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	特になし。
---	-------

事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	昭和37年の体育指導委員制度発足当初は、スポーツ人口を増やすための実技指導者的な役割が期待されていたが、平成元年に国と都の答申が出され、地域スポーツコーディネーターとして位置づけられるようになった。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	体育指導委員が企画実施している事業のうち、ウォーキング事業に関する問合せが多く、多くの区民が歩く機会を求めていることがわかる。秋の郊外歩こう会は毎年2～3倍の申し込みがあり、参加者には好評である。
	今後の予測	高齢化社会を迎え、区民が心身とも健康に生活していける環境を作ることは、非常に重要な施策となっている。スポーツの需要は今後も高まっていくと考えられるが、一方では、なかなかスポーツの場に参加できない人たちも多い。こうした区民にスポーツを楽しんでもらうための方策を現在体育指導委員が研究し、事業を企画・実施しているので、今後事業の定着を図っていく。

事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 区民が自主的主体的に地域スポーツができるようにするための施策を検討実施しており、地域スポーツ推進のための原動力となっている。	
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できる(^) 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)	理由または具体的内容: 理由または具体的内容: 体育指導委員の実施する地域拠点活動を発展させ、参加者を増加させる。また、歩こう会や、綱引き大会などの参加者数も増加させていく。	
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: スポーツを始めるきっかけづくりのための事業であり、参加費の徴収は事業の推進にマイナスに作用する可能性がある。なお、秋の歩こう会については、すでに参加実費を徴収している。ただし、すべての事業において任意のスポーツ保険料を徴収している。	
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 現状で既に最低限の経費で運営している。	

協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	協働等の今後のあり方:	<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄
	(2) 協働等の相手 社団法人・財団法人等公益団体(^)	協働等による成果と課題: 体育指導委員は非常勤職員ではあるが、公募による区民で構成され、自主的事業活動を行っている。体育指導委員の現在の形態を保ち、サポートとしてボランティアや区民スタッフの充実化を図る。	
	(3) 協働等の形態 協働[その他](具体的内容)		

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうするか)に 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 今期(23期:18・19年度)は、学校を拠点とした地域スポーツ活動を行い、区民の目に触れ、参加しやすい場で、多くの区民がスポーツに触れ合えるよう環境を整えていく。	
20年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 定数を変更してはいないが、全員公募制にした関係から体育指導委員の人数が19期当時と比べて大幅に減少した。このため、大規模な事業実施に際しては人手不足の観がある。質の高い事業の推進を図ると共に、今後熱意のある人材を確保していくことが急務である。	
	(1) 20年度予算見積の方向性 <input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし	(2) 理由 体育指導委員を現状より増員させる。事業展開は現在の方向で事業を推進する。

平成19年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		スポーツ栄誉章			整理番号	798	枝番号								
担当部課名		社会教育スポーツ課		コード	601613	連絡先 電話番号	1675	昨年度 整理番号	804	昨年度 枝番号					
係名				社会体育係				上位施策名		No					
予算事業名				社会体育振興				コード		83400		生涯学習環境の整備・充実		62	
事務事業の概要	事業開始年度			<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		61 年度									
	事業の種類			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規		<input type="checkbox"/> 行革計画事業		<input type="checkbox"/> 協働計画事業		政策番号			実施計画事業		
	対象			<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		根拠法令等									
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)			審査会にて被顕彰者を決定し、年1回栄誉章授与式を開催して表彰状及び副賞(個人受賞者はメダル、団体受賞者は楯)を授与する。									事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)		
	活動指標名(式)			(1) 被顕彰者数									成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標		
			(2)									(1) (代)被顕彰者数 ÷ 被推薦者数			
			(2)												
指標		区分		単位	16年度実績		17年度		18年度		19年度計画	目標値 22年度	目標値に対する18年度 の達成率%		
					計画	実績	計画	実績							
		活動指標(1)		人	233	100	236	100	396	200	200	198.0			
		活動指標(2)													
		成果指標(1)		%	90	100	81	100	100	100	100	100.0			
		成果指標(2)													
総事業費・コスト把握		事業費		千円	176	239	315	239	285	239	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)				
		(内) 投資的経費等		千円											
		(内) 委託費		千円											
		職員数(常勤 非常勤)		人	0.23	0.21	0.23	0.21	0.23	0.21	0.23	制度が広く周知されてきたことに伴い、被顕彰者数が目標値を超えており、今後も同様の傾向が予想されることから、目標値を上方修正する。			
		人件費		千円	2,093	1,903	2,084	1,903	2,084	2,084					
		常勤職員分(超勤分含む)		千円	0	0	0	0	0	0					
		非常勤職員分		千円	2,269	2,142	2,399	2,142	2,369	2,323					
		総事業費 + +		千円	9,738	21,420	10,165	21,420	5,982	11,615					
		単位あたりコスト(-)÷		円											
		財源		千円											
受益者負担分		千円	0	0	0	0	0	0							
国・都等からの支出金		千円	2,269	2,142	2,399	2,142	2,369	2,323							
特定財源計 +		千円	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0							
差引: 一般財源 -		千円													
受益者負担比率 ÷		%													
18年度の主な取組み		内 容							規模	単位	事業費(千円)				
		被顕彰者へのメダル等の購入							1	式	285				
		その他 ()									0				

平成19年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 798 枝番号

18年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 18年度達成率%	396.0	活動指標(2)の 18年度達成率%	18年度予算 執行率%	119.2
		事業の性格上、予定数を達成することを目的としない。				
前年度の改革案の取り組み状況 (19年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		14年度から団体受賞者の副賞を、全員分のメダルから団体に一つの楯へ変更し、費用を削減した。				
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	制度が発足した当初はオリンピックなど国際的な大会等で活躍した人を顕彰していたが、制度が周知されるのに従って対象が広がり、区民にとって身近な顕彰制度になってきている。				
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	顕彰されることは、本人及び関係者にとって大変励みになると喜ばれている。				
	今後の予測	スポーツ関係唯一の顕彰制度であり、今後も継続する				
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 中(理由)	理由: 顕彰制度を設けることで、地域スポーツ推進に寄与している。				
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる() 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)	理由または具体的内容: 理由または具体的内容: 広報紙等PRになお一層努力して、広く区民の活躍を周知し、事業の効果を高めていく。				
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 顕彰制度であるため、受益者負担を求める部分はない。				
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: コストは副賞及び事務費のみであり、これ以上の削減は難しい。				
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 実現していない(実現は困難)(具体的内容)	協働等の今後のあり方:	<input type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input checked="" type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手	協働等による成果と課題: 区及び教育委員会が直接表彰する性格の事業である。				
	(3) 協働等の形態					

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 広報紙等PRになお一層努力して、広く区民の活躍を周知し、事業の効果を高めていく。	
20年度方針	(1) 20年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減な <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	特になし。

平成19年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		調査・研究(地域スポーツ・社会体育に関する)			整理番号	799	枝番号											
担当部課名		社会教育スポーツ課		コード	601613	連絡先 電話番号	1675	昨年度 整理番号	805	昨年度 枝番号								
係名				社会体育係				上位施策名		No								
予算事業名				社会体育振興				コード		83400		生涯学習環境の整備・充実		62				
事務事業の概要	事業開始年度			<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		37 年度												
	事業の種類			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規		<input type="checkbox"/> 行革計画事業		<input type="checkbox"/> 協働計画事業		政策番号			実施計画事業 分野		施策番号		事業コード	
	対象			<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		根拠法令等						(1) 社会教育法第3条、第5条、第9条の6						
	社会体育振興に関する情報											(2)						
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手順)			社会体育に関する図書や資料、情報を収集する。		事業の目標(対象をどのような状態にしたいのか)						社会教育に関する図書や資料、情報を収集し、社会体育振興に役立てる。社会教育主事研修に参加して社会体育に関する知識を高め、社会体育振興に役立てる。						
活動指標名(式)			(1) 年間図書購入数		成果指標名(式) (代)=適当な指標がない場合の代替指標						(1) 図書蔵書類(類型)							
			(2)								(2)							
区分		単位	16年度実績		17年度		18年度		19年度計画	目標値 22年度	目標値に対する18年度 の達成率%							
			計画	実績	計画	実績												
指標	活動指標(1)		冊	14	20	14	20	13	20	20	65.0							
	活動指標(2)																	
	成果指標(1)		冊	240	260	240	300	240	300	300	80.0							
	成果指標(2)																	
総事業費・コスト把握	事業費		千円	326	335	240	195	216	195	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)								
	(内)投資的経費等		千円															
	(内)委託費		千円															
	職員数(常勤 非常勤)		人	0.01	0.02	0.02	0.02	0.06	0.02									
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	91	181	181	181	544	181								
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0	0	0								
	総事業費 ++		千円	417	516	421	376	760	376									
	単位あたりコスト(-)÷		円	29,786	25,800	30,071	18,800	58,462	18,800									
	財源	受益者負担分		千円														
		国・都等からの支出金		千円														
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0	0										
差引:一般財源 -		千円	417	516	421	376	760	376										
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0										
18年度の主な取組み			内 容					規模	単位	事業費(千円)								
			スポーツ総覧の差し替え					3	回	211								
			体育指導委員の機関紙「みんなのスポーツ」購入					10	冊	5								
			その他 ()							0								

平成19年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 799 枝番号

18年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 18年度達成率%	65.0	活動指標(2)の 18年度達成率%		18年度予算 執行率%	110.8
		地域スポーツ、ウォーキング等の情報を収集し、事業の企画等に生かしていく。					
前年度の改革案の取り組み状況 (19年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		適正な情報収集に努めるとともに、情報管理を徹底している。					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	従来は競技スポーツが主流だったが、国民の健康志向の高揚に伴い、誰でも楽しめるニュースポーツ(インディアカ、バウンドテニス等)が急速に増加するなど、スポーツ環境の変化が激しく、情報も拡大し続けている。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	ウォーキングに関する情報やニュースポーツのルールなどについて問合せがある。					
	今後の予測	図書の購入、スポーツ情報の収集を継続する。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 中(理由)	理由: 適正な情報収集、情報管理をすることで、区民の意識を把握し、事業にプランニングに生かすとともに、情報発信に努めている。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる() 成果向上のための方策 その他(具体的内容)	理由または具体的内容: 理由または具体的内容: 情報をより生かすことでスポーツ事業発展に寄与できる					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 区民参加のない事業であるため					
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 必要最低限の図書を購入しているため					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 実現していない(実現は困難)(具体的内容)	協働等の今後のあり方:		<input type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input checked="" type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手	協働等による成果と課題: 主にスポーツに関する図書等の購入なので、協働すべき性格の事業ではない。					
	(3) 協働等の形態						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 真に必要な情報を整理し、収集に努める。	
20年度方針	(1) 20年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	I 時代にふさわしい多様な情報手段を検討する。

平成19年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		中学校対抗駅伝大会				整理番号	800	枝番号			
担当部課名		社会教育スポーツ課		コード	601613	連絡先 電話番号	1674	昨年度 整理番号	806	昨年度 枝番号	
係名		社会体育係		上位施策名				No			
予算事業名		社会体育振興		コード	83400	生涯学習環境の整備・充実				62	
事務事業の概要	事業開始年度		<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成		12年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野 <input type="checkbox"/> 行革計画事業		政策番号	施策番号	事業コード
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				<input type="checkbox"/> 協働計画事業		根拠法令等		
	対象		<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 杉並区内の公立・私立中学校の生徒で構成するチーム。				(1) スポーツ振興法第5条、第7条 (2) 杉並区教育委員会社会体育事業共催分担金支出等要綱 (3) 杉並区体育協会補助金要綱				
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）		中学校体育連盟が例年実施していた「杉並区中学校駅伝競走大会」を引き継ぎ、12年度には21世紀プロジェクト事業、13年度から社会教育事業の一環と位置づけ実施している。名称を「杉並区中学校対抗駅伝大会」とし、さらにコースを善福寺公園から和田堀公園競技場周辺に変更して実施している。平成16年度の5周年記念大会は公道コースで実施した。				事業の目標（対象をどのような状態にしたいのか） タスキをつないで走ることの楽しさと、そこに生まれる連帯感を通じて、青少年の体力向上と健全育成を図るとともに、地域住民に走ること、運動することの楽しさを広げていく。連帯の輪を地域全体に広げ安心・安全のまちを築く。今後は公道コースでの定例的な実施を目指していく。				
	活動指標名(式)		(1) 参加者数(補欠選手含む) (2)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 参加率(参加校数 ÷ 区内中学校数) (2)				
指標	区分	単位	16年度実績	17年度		18年度		19年度計画	目標値 22年度	目標値に対する18年度の達成率%	
	活動指標(1)	人	341	450	374	450	413	450	450	91.8	
	活動指標(2)										
	成果指標(1)	%	75.7	100.0	70.0	100.0	75.6	100.0	100.0	75.6	
総事業費・コスト把握	事業費	千円	16,835	2,284	2,091	2,284	2,113	18,000	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)		
	(内) 投資的経費等	千円									
	(内) 委託費	千円									
	職員数(常勤 非常勤)	人	0.31	0.28	0.31	0.28	0.34	1.27			
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	2,821	2,537	2,809	2,537	3,080	11,506		
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0	0		
	総事業費 + +	千円	19,656	4,821	4,900	4,821	5,193	29,506			
	単位あたりコスト(-) ÷	円	57,642	10,713	13,102	10,713	12,574	65,569			
	財源	受益者負担分	千円								
		国・都等からの支出金	千円								
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0	0			
差引: 一般財源 -		千円	19,656	4,821	4,900	4,821	5,193	29,506			
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
18年度の主な取組み	内 容		規 模		単位	事業費(千円)					
	資機材賃借料		1		式	921					
	メダル・参加賞等		1		式	734					
	大会関係者謝礼		119		人	273					
	ゼッケン等洗濯代等		1		式	117					
	その他 (警備委託料)					68					

平成19年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 800 枝番号

18年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 18年度達成率%	91.8	活動指標(2)の 18年度達成率%	18年度予算 執行率%	92.5
		杉並区内の公立・私立中学校33校中25校、男子28チーム、女子27チーム、計55チームの参加があった。				
前年度の改革案の取り組み状況 (19年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		平成16年度は、第5回目の記念大会として取り組んだ。平成17年度に続き、通常規模で開催した。平成17年度と比較すると、参加校数、女子チーム数が増加し、男子チーム数は減少したものの、参加率は5.6ポイント上昇した。				
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	中学校体育連盟が例年実施している「杉並区中学校駅伝競走大会」は、中学校総合体育大会の一競技であったが、12年度の21世紀プロジェクト事業の一つとして開催された。13年度からは社会教育事業として見直し、14年度はファミリー駅伝大会も同時開催し現在にいたっている。				
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	「中学生の走る姿に感動した」、との声や「今後も続けてほしい」旨の意見が多数あった。				
	今後の予測	社会教育事業の一事業として見直した「中学校対抗駅伝大会」に、さらに広く区民に広げていくためファミリー駅伝を同時開催していたが、ファミリー駅伝の定着化に伴い、平成16年度に引き続き、平成17年度も別日程で開催することとなったため、更に事業の充実化が図られる。				
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 広く区の事業として周知を徹底することにより、広く区民の注目を集め、スポーツへの関心を高めた。また、駅伝を通じて走る楽しさと連帯感を醸成した。また、区民同士が協力し合いふれあいと連帯が築かれ安心、安全のまちの推進に寄与した。				
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由) 成果向上のための方策	理由または具体的内容: 中学校体育連盟、陸上競技協会等と既に相当程度協働しており、事業費の削減は困難である。				
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 事業の性質上、参加費の徴収等は適当でない。				
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 現状の予算が現在の大会規模を維持できる最低限の予算であるため。				
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 一部実現している(^)	協働等の今後のあり方:	<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(^)	協働等による成果と課題: 地域活動団体等の協力体制を充実化し、連帯の輪を地域全体に広げる。				
	(3) 協働等の形態 協働[事業協力](具体的内容)					

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 区内の公・私立を含め、全中学校の参加を目標とする。	
20年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 特になし。	
	(1) 20年度予算見積の方向性 <input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし	(2) 理由 特になし。

平成19年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		歩こう会			整理番号	801	枝番号				
担当部課名	社会教育スポーツ課	コード	601613	連絡先 電話番号	1674	昨年度 整理番号	807	昨年度 枝番号			
係名	社会体育係	上位施策名			No						
予算事業名	社会体育振興	コード	83400	生涯学習環境の整備・充実			62				
事務事業の概要	事業開始年度	<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成	45 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業	分野	政策番号	施策番号	事業コード		
	事業の種類	<input type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 一部新規	<input type="checkbox"/> 臨時・単年度	<input type="checkbox"/> 行革計画事業	<input checked="" type="checkbox"/> 協働計画事業					
	対象 区民	<input checked="" type="checkbox"/> 個人	<input type="checkbox"/> 世帯	<input type="checkbox"/> 団体	<input type="checkbox"/> その他	根拠法令等					
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）	年2回、区民歩こう会を実施する。			事業の目標（対象をどのような状態にしたいのか） 日ごろ運動をしていない人、ウォーキングを始めたいが、機会がない(少ない)人について、自主的・継続的にウォーキングを楽しめるようにしていく。						
	活動指標名(式)	(1) 歩こう会開催回数 (2) 参加者数			成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 参加者数 (2) (代)参加率 事業参加者数 ÷ 杉並区の人口						
指標	区分	単位	16年度 実績	17年度		18年度		19年度 計画	目標値 22年度	目標値に対 する18年度 の達成率%	
	活動指標(1)	回	2	2	2	2	2	2	2	100.0	
	活動指標(2)	人	286	470	488	500	282	500	500	56.4	
	成果指標(1)	人	286	470	488	500	282	500	500	56.4	
	成果指標(2)	%	0.05	0.09	0.09	0.10	0.05	0.10	0.10	50.0	
総事業費・コスト把握	事業費	千円	1,052	1,259	1,032	1,321	1,106	1,464	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)		
	(内) 投資的経費等	千円									
	(内) 委託費	千円									
	職員数(常勤 非常勤)	人	0.37	0.34	0.37	0.34	0.45	0.37			
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	3,367	3,080	3,352	3,080	4,077	3,352		
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0	0		
	総事業費 + +	千円	4,419	4,339	4,384	4,401	5,183	4,816			
	単位あたりコスト(-)÷	円	2,209,500	2,169,500	2,192,000	2,200,500	2,591,500	2,408,000			
	財源	受益者負担分	千円	424	1,016	630	1,016	573	660		
		国・都等からの支出金	千円		44	20	44	12	18		
特定財源計 +		千円	424	1,060	650	1,060	585	678			
差引:一般財源 -		千円	3,995	3,279	3,734	3,341	4,598	4,138			
受益者負担比率 ÷	%	9.6	23.4	14.4	23.1	11.1	13.7				
18年度の主な取組み	内 容			規模	単位	事業費(千円)					
	バス借上料等			5	台	651					
	関係者謝礼等			95	人	292					
	チラシ・ポスターの作成等			1	式	125					
	参加者保険料等			1	式	29					
	その他 (旅費等)			1	式	9					

平成19年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 801 枝番号

18年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 18年度達成率%	100.0	活動指標(2)の 18年度達成率%	56.4	18年度予算 執行率%	83.7
		春の歩こう会は、天候の影響により参加者が少なかった。秋の歩こう会は、平成17年度に続いてバス5台で実施し、2倍近い倍率の申込みがあった。					
前年度の改革案の取り組み状況 (19年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		春の歩こう会については、事前の申し込み制を取りやめ、現地集合と現地解散とし、さらに参加しやすいように同じ場所を2日に分けて実施する。					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	昭和45年開始当時はバス旅行的な感覚もあったが、近年はウォーキングが手軽なスポーツとして認識されるようになってきており、ウォーキングブームも手伝って申し込み倍率も高くなってきている。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	「また参加したい」という声が多く、特に郊外歩こう会は毎回抽選になるほど申込者が多い。また、問合せで「 歳で参加しづらいけれど、連れて行ってもらえますか?」や、「早く歩けないんですけど、大丈夫でしょうか」といった声も聞かれ、足に自信のない人も区の主催ということで申し込んでいます。					
	今後の予測	民間の企画する歩こう会的なツアーやトレッキングが増えつつあるが、足に自信のない人や高齢者には不安な点も多く、需要はますます拡大すると思われる。民間のウォーキンググループと連携して、体力にあった歩き方ができる企画や身近なところで楽しむ企画など、バリエーションに富んだ歩こう会を提供していく。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいのか 貢献度 大(理由)	理由: 歩こう会は運動すること、歩くことのひとつのきっかけづくりである。参加することによって仲間ができて、いろいろな歩く情報に接することができる。こうしたことが継続的な活動につながり、健康増進に役立つ。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる()	理由または具体的内容:					
	成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)	理由または具体的内容: 歩こう会の情報発信に努めるとともに、歩いて楽しい場所や希望の多い場所の選定し参加者の増加を図る。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 既に交通費、保険料等の実費は参加者負担としている。					
(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 効率化に努め、最小限の経費で実施している。						
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(^)	協働等による成果と課題: 体育指導委員を中心として、区民ボランティアによる計画・立案・実施を任せている。今後は、更にボランティアを増やしより充実させていく。					
	(3) 協働等の形態 協働[事業協力](具体的内容)						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 民間のウォーキング団体と連携して、バリエーションに富んだ歩こう会を提供していく。また、区民の意識や生活が多様化しているため、参加しやすい方法や魅力のある会について工夫をしていく。	
20年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 特になし。	
	(1) 20年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
(2) 理由 現在、既に最低限の予算で事業を開催しているため。		

平成19年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		わいわいスポーツ教室(心身障害者スポーツ教室)				整理番号	802	枝番号						
担当部課名		社会教育スポーツ課		コード	601613	連絡先電話番号	1674	昨年度整理番号	808	昨年度枝番号				
係名					社会体育係			上位施策名		No				
予算事業名					社会体育振興			コード		83400	生涯学習環境の整備・充実	62		
事務事業の概要	事業開始年度			<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成		4年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業						
	事業の種類			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等								
	対象			<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 区内在勤・在住・在学の15歳以上の重度心身障害者		(1) スポーツ振興法第7条 (2) わいわいスポーツ教室実行委員会規約 (3)								
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手順)			年6回、水泳、ボウリング、ダンスなどのスポーツやレクリエーションを実施する。送迎バスを手配し、重度心身障害者が参加しやすいように配慮している。										
	活動指標名(式)			事業の目標(対象をどのような状態にしたいのか) 日頃スポーツに接する機会が少ない障害者に、スポーツの楽しさを体験してもらう。また、参加者同士、ボランティアとの交流を深める場とする。										
			(1) 事業の実施回数		成果指標名(式) (代)=適当な指標がない場合の代替指標									
			(2) 参加者数		(1) 参加者実人員 (2) (代)参加率 参加者実人員 ÷ 身障手帳・愛の手帳所持者									
区分		単位	16年度実績		17年度		18年度		19年度計画	目標値22年度	目標値に対する18年度の達成率%			
指標	活動指標(1)		回	6	6	6	6	6	6	6	100.0			
	活動指標(2)		人	254	240	227	240	234	180	240	97.5			
	成果指標(1)		人	92	90	95	90	87	70	90	96.7			
	成果指標(2)		%	0.74	0.73	0.72	0.73	0.71	0.50	0.64	110.9			
総事業費・コスト把握	事業費		千円	630	750	702	759	755	758	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)				
	(内)投資的経費等		千円											
	(内)委託費		千円											
	職員数(常勤 非常勤)		人	0.89	0.82	0.89	0.82	0.85	0.85	平成19年度から、成果指標(2)「参加率」の母数を、身障手帳と愛の手帳所持者とする。				
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	8,099	7,429	8,063	7,429	7,701			7,701		
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0	0			0		
	総事業費 ++		千円	8,729	8,179	8,765	8,188	8,456	8,459					
	単位あたりコスト(-)÷		円	1,454,833	1,363,167	1,460,833	1,364,667	1,409,333	1,409,833					
	財源	受益者負担分		千円										
		国・都等からの支出金		千円										
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0	0						
差引:一般財源 -		千円	8,729	8,179	8,765	8,188	8,456	8,459						
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						
18年度の主な取組み			内 容				規模	単位	事業費(千円)					
			ボランティア謝礼等				1	式	648					
			消耗品類				1	式	33					
			郵送料等				1	式	50					
			参加者保険料等				1	式	16					
			その他(会場借上料)						8					

平成19年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 802 枝番号

18年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 18年度達成率%	100.0	活動指標(2)の 18年度達成率%	97.5	18年度予算 執行率%	99.5
		回数、参加者数とも計画どおり実施している。送迎バスは区障害者施設のバスを借りるなど、最小の経費で執行できるよう努めている。					
前年度の改革案の取り組み状況 (19年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		重度障害者を対象とするスポーツ教室だが、重度だけではルールが理解できないことや簡単な動作も難しい場合が多く、スポーツ教室としては成り立ちにくいという問題がある。そこで、軽度の障害者にも参加してもらい、一緒に何かをしている楽しい感覚を共有できる状況を作るようにしていく。					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	障害者の余暇活動を支援する事業として、スポーツの観点から始まった。(財)杉並区スポーツ振興財団でも障害者のスポーツ教室を継続的に実施しているが、バスの送迎がないため、重度障害者の参加はほとんどない。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	40名の定員以上に応募があり抽選を行なっているが、全員参加させて欲しいとの要望がある。種目としては、水泳、ボウリングに人気がある。					
	今後の予測	支援費制度が始まり、参加者が依頼したヘルパーと参加するケースが出てきている。今後増加することが予想される。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 重度障害者を対象としているが、軽度障害者からの参加も多く、可能な限り受け入れている。障害者の余暇対策事業の側面だけでなく、家族の介護負担の軽減にも貢献している。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由) 成果向上のための方策	理由または具体的内容: 重度障害者が対象であり、介助に専門的な知識や経験が必要である。ボランティアが介助を行う形態のため、安全確保の面から定員を増加させることは難しい。 理由または具体的内容:					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 事業費のほとんどが、ボランティアへの費用弁償と保険料だけである。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 事業費のほとんどが、ボランティアへの費用弁償と保険料だけである。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 実現していない(実現は困難)(具体的内容)	協働等の今後のあり方:		<input type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input checked="" type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手	協働等による成果と課題: 重度障害者は、継続的にかかわらないと対応することが難しく、長期にわたる人材の育成が必要である。					
	(3) 協働等の形態						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 障害者の支援は、グループでの支援から個別支援に移行しつつある。支援費制度が始まりヘルパーとの契約での支援や、デイサービスの利用等も促進されることが予測され、区としての事業の必要性は中長期的には薄れてゆくと思われる。また、障害者施策部門と調整を図り、充実に向けて検討する。	
20年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 重度障害者の余暇支援となる事業は需用があるため、区直轄事業に代わる事業につなげてゆく必要がある。	
	(1) 20年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
(2) 理由 前年度と同様に実施。		

平成19年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		体育団体育成						整理番号	803	枝番号				
担当部課名		社会教育スポーツ課		コード	601613	連絡先 電話番号	1675	昨年度 整理番号	809	昨年度 枝番号				
係名		社会体育係						上位施策名		No				
予算事業名		体育団体育成		コード	84200	生涯学習環境の整備・充実				62				
事務事業の概要	事業開始年度		○昭和 ●平成		1年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野 <input type="checkbox"/> 行革計画事業		政策番号 施策番号 事業コード					
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度		<input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 内部管理		<input type="checkbox"/> 協働計画事業		根拠法令等					
	対象		<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		区内のスポーツ団体、大会等		(1) スポーツ振興法第5条、第7条 (2) 杉並区教育委員会社会体育事業共催分担金支出等要綱 (3) 杉並区体育協会補助金要綱							
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		各種スポーツ団体が行う区民を対象としたスポーツ教室や大会等を共催、後援する。一部の共催事業には、定額の分担金を支出する。		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)		各種スポーツ団体の活動を共催・後援し、団体の活動を活性化するとともに、杉並区でのスポーツの普及を図る。							
	活動指標名(式)		(1) 共催、後援事業件数 (2) 共催、後援事業参加者数		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標		(1) (代) 共催、後援事業参加者数 (2)							
指標	区分		単位	16年度実績	17年度		18年度		19年度計画	目標値 22年度	目標値に対する18年度の達成率%			
	活動指標(1)		件	134	134	142	150	146	150	150	97.3			
	活動指標(2)		人	33,148	33,148	38,425	35,000	54,837	55,000	55,000	99.7			
	成果指標(1)		人	33,148	33,148	38,425	35,000	54,837	55,000	55,000	99.7			
総事業費・コスト把握	事業費		千円	3,290	3,650	3,290	4,721	4,387	4,058	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)				
	(内) 投資的経費等		千円											
	(内) 委託費		千円											
	職員数(常勤 非常勤)		人	0.33	0.30	0.33	0.17	0.50	0.18	0.50	0.24	0.50		
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	3,003	2,718	2,990	1,540	1,631	2,174	指標(1)参加者数が従来の目標値を超え、今後も上昇すると考えられるため、目標値を上方修正する。			
		非常勤職員分		千円	0	0	0	1,415	1,415	1,415				
	総事業費 ++		千円	6,293	6,368	6,280	7,676	7,433	7,647					
	単位あたりコスト(-)÷		円	46,963	47,522	44,225	51,173	50,911	50,980					
	財源	受益者負担分		千円										
		国・都等からの支出金		千円										
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0	0						
差引: 一般財源 -		千円	6,293	6,368	6,280	7,676	7,433	7,647						
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						
18年度の主な取組み		内 容						規模	単位	事業費(千円)				
		団体等への補助金・負担金等						29	団体	4,387				
		その他 ()								0				

平成19年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 803 枝番号

18年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 18年度達成率%	97.3	活動指標(2)の 18年度達成率%	156.7	18年度予算 執行率%	92.9
		例年並の分担金交付件数である。					
前年度の改革案の取り組み状況 (19年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		共催分担金支出件数の抑制に努力しているが、団体の活動基盤に影響を及ぼすことも勘案しつつ、削減に引き続き取り組む。					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	各種スポーツ団体の助成については、当初からほぼ同じ団体の事業に助成されており、予算の関係上新たな団体への支援が少ない状況にある。また、14年度から杉並区体育協会の事務局を社会体育係から(財)杉並区スポーツ振興財団に移管した。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	会場を確保するために共催もしくは後援が欲しいとの要望が多い。					
	今後の予測	民間スポーツ施設を使用できなくなる傾向があり、スポーツ事業の優先会場の確保について要望が高まっていくと予想される。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 中(理由)	理由: スポーツ団体の活動支援に効果はあるが、共催・後援とも、優先的に会場を確保できるので、スポーツ施設の区民貸切使用を抑圧していることも少なくない。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由) 成果向上のための方策	理由または具体的内容: 会場の優先予約が成果につながっているため、それ以上のことは難しい。 理由または具体的内容:					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 事業の性格上受益者負担はない。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 共催・後援に伴う会場確保のため、スポーツ施設の区民貸切使用が抑圧されている。これ以上の会場の優先確保は好ましくない。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(^)	協働等による成果と課題: 会場の確保、広報すぎなみへの掲載等。共催分担金を支出する場合は、資金の援助。					
	(3) 協働等の形態 協働[補助・助成](具体的内容)						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input checked="" type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 分担金に関しては、件数を見直す努力を今後も続けるとともに、適正額を検討する。また、共催、後援だけでも大きなメリットがあり、体育施設使用料の減免制度の見直しを検討する。	
20年度方針	(1) 20年度予算見積の方向性 <input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減な <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし	(2) 理由 今後分担金見直しについての検討が必要である。

平成19年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		体育施設維持管理						整理番号	804	枝番号	
担当部課名		社会教育スポーツ課		コード	601613	連絡先 電話番号	1674	昨年度 整理番号	810	昨年度 枝番号	
係名		社会体育係						上位施策名		No	
予算事業名		体育施設維持管理		コード	84500	生涯学習環境の整備・充実				62	
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		30 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野 <input checked="" type="checkbox"/> 行革計画事業 <input checked="" type="checkbox"/> 協働計画事業		政策番号	施策番号	事業コード
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				根拠法令等				
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他				(1) 社会教育法第3条、第5条第4号及び第13号 (2) スポーツ振興法第12条 (3) 杉並区体育施設等に関する条例及び同施行規則				
	施設利用者		区民、体育団体等				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)		施設を常に良好な状態に保ち、すべての区民にスポーツ活動の場を提供する。		
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		平成17年度までは体育施設の維持管理を、一部を除き財団法人杉並区スポーツ振興財団に委託した。平成18年度から指定管理者制度を導入し、一部を財団法人杉並区スポーツ振興財団、上井草スポーツセンターを株式会社ティップネス・ワセダクラブ共同事業体に委託し、一部を直営とした。また、井草の森公園運動場の整備をNPO法人に委託している。				事業の目標 (式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標		(1) 基準利用人員【1,419,644人】 (2) (施設の規模と形態にあわせて、一般的な利用人員の数量を定め、平均的な開場期間等を加味して算出した利用できる規模の目安。)		
活動指標名(式)		(1) 施設利用者数		(2)		成果指標名(式)					
区分		単位	16年度実績	17年度		18年度		19年度計画	目標値 22年度	目標値に対する18年度 の達成率%	
指標	活動指標(1)		人	1,277,342	1,250,000	1,284,388	1,300,000	1,365,665	1,320,000	103.5	
	活動指標(2)										
	成果指標(1)		%	90	88	91	92	96	93	103.2	
	成果指標(2)										
総事業費・コスト把握	事業費		千円	668,088	725,995	670,384	769,974	732,184	764,841	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など) 平成17年度以前は、社会教育スポーツ課「体育施設維持管理」経費と、財団法人杉並区スポーツ振興財団8号事業(区から受託する施設の管理運営)経費を対象に評価を行っていたが、平成18年度から指定管理者制度を導入したため、社会教育スポーツ課「体育施設維持管理」経費のみを評価の対象とする。なお、「受益者負担分」欄は直営施設の使用料収入、教室参加費収入を記載した。	
	(内) 投資的経費等		千円								
	(内) 委託費		千円	439,239	437,069	412,073	669,072	633,988	660,404		
	職員数(常勤 非常勤)		人	2.67	2.44	2.67	2.70 0.50	1.76 0.50	1.88 0.50		
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	24,297	22,106	24,190	24,462	15,946	17,033		
		非常勤職員分	千円	0	0	0	1,415	1,415	1,415		
	総事業費 + +		千円	692,385	748,101	694,574	795,851	749,545	783,289		
	単位あたりコスト(-)÷		円	542	598	541	612	549	593		
	財源	受益者負担分		千円	211,134	212,206	204,155	65,511	62,179		69,383
		国・都等からの支出金		千円							
特定財源計 +		千円	211,134	212,206	204,155	65,511	62,179	69,383			
差引: 一般財源 -		千円	481,251	535,895	490,419	730,340	687,366	713,906			
受益者負担比率 ÷		%	30.5	28.4	29.4	8.2	8.3	8.9			
18年度の主な取組み		内 容						規模	単位	事業費(千円)	
		指定管理者への管理運営委託(8施設)						1	式	416,762	
		運動場・屋外プールの施設管理業務委託(6施設)						1	式	164,181	
		光熱水費(6施設)						1	式	48,649	
		公園運動場等の施設保守管理委託(14施設)						1	式	51,396	
		その他 (施設整備費、維持管理経費等)						1	式	51,196	

平成19年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 804 枝番号

18年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 18年度達成率%	105.1	活動指標(2)の 18年度達成率%		18年度予算 執行率%	95.1
		前年度と比較すると利用者は増加傾向にあるが、体育施設は経年劣化もあり、費用は増加している。					
前年度の改革案の取り組み状況 (19年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		従来、スポーツ振興財団が一部の施設を除いて管理運営をしていたが、平成18年度4月より指定管理者制度を導入したため、一部の施設を除いて、スポーツ振興財団と民間事業者が指定管理者として管理運営を行うこととなった。それにより体育施設全体の運営経費の枠組みを変更し、今までスポーツ振興財団へ補助金として支出していたものの一部を委託費として組み替えた。そのため、平成18年度以降は委託費の割合が増加している。					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	区民のスポーツ活動は年々多様化してきており、区のスポーツ事業に対する期待は質、量ともに高まってきている。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	施設設備の充実や拡充、施設の利用方法、使用料のあり方などに関する要望が多い。					
	今後の予測	指定管理者制度の導入により、民間事業者も参入した。指定管理者は、より一層の事業の充実をはかり、それにより見込める参加費等により全体としての経費の削減が見込める。また、事業の拡大により多くの利用者が見込める。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: スポーツ振興のためには、施設の提供は必要不可欠である。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できる(^) 成果向上のための方策 実施主体の変更(具体的内容)	理由または具体的内容: 理由または具体的内容: 指定管理者制度を導入することにより、施設運営の効率化や、サービスの増大が図れる。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ある(具体的内容)	理由または具体的内容: 指定管理者制度の導入に伴い、受託者の創意工夫によりさまざまな料金設定が可能となる。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ある [その他] (具体的内容)	理由または具体的内容: 指定管理者制度を導入することにより、経常的な経費は削減できるが、施設の老朽化などにより、一時的な経費が必要となる。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 一部実現している(^)	協働等の今後のあり方:	<input type="radio"/> 実施継続 <input checked="" type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄				
	(2) 協働等の相手 社団法人・財団法人等公益団体(^)	協働等による成果と課題: 指定管理者制度の導入により、施設の管理運営を複数の事業者が担うこととなり、事業展開やコスト削減に向けた競争意識が働き、よりよい施設運営が期待できる。また、井草の森公園運動場の整備をNPO法人に委託している。					
	(3) 協働等の形態 協働[委託](具体的内容)						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input checked="" type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 指定管理者は指定期間を3年間に定め施設の管理運営を行う。その間に、各指定管理者の創意工夫により、施設利用者の増加を図り、利用料や教室参加費などの収入を増大させ委託経費の削減に努力する。	
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 初年度においてすぐに実績を見出すことは難しいが、指定期間の3年間で成果を期待する。今後は、評価制度を確立する必要がある。	
20年度方針	(1) 20年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減な <input checked="" type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	指定管理者の指定期間の中で、それぞれの事業者の努力により効果が期待できる。

平成19年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		(財)杉並区スポーツ振興財団に対する運営等補助金				整理番号	805		枝番号			
担当部課名	社会教育スポーツ課		コード	601613		連絡先 電話番号	1674		昨年度 整理番号	811	昨年度 枝番号	
係名 社会体育係			上位施策名						No			
予算事業名 財団法人杉並区スポーツ振興財団			コード	84300		生涯学習環境の整備・充実				62		
事務事業の概要	事業開始年度		○ 昭和 ● 平成		5 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野		政策番号	施策番号	事業コード	
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				<input checked="" type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業					
	対象		<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		財団法人杉並区スポーツ振興財団		根拠法令等					
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		財団法人杉並区スポーツ振興財団に対して必要な経費を助成する。				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 財団法人杉並区スポーツ振興財団が、その設立目的であるスポーツ振興に関する事業を活発に行うことができるよう、財団運営の安定に資する。					
	活動指標名(式)		(1) 教室・事業数 (2)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 教室・イベント事業参加者数 (2)					
指標	区分	単位	16年度実績	17年度		18年度		19年度計画	目標値 22年度	目標値に対する18年度の達成率%		
	活動指標(1)	回	116	117	117	93	91	116	120	75.8		
	活動指標(2)											
	成果指標(1)	人	54,432	56,000	56,549	47,000	50,161	47,000	50,000	100.3		
総事業費・コスト把握	事業費		千円	386,875	409,188	358,243	145,895	145,895	145,867	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)		
	(内) 投資的経費等		千円									
	(内) 委託費		千円									
	職員数 (常勤 非常勤)		人	1.04	0.95	1.04	0.95	0.96	1.02	平成18年度の指定管理者制度導入に伴い、補助金の内容を見直し、大幅に減額した。		
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	9,464	8,607	9,422	8,607	8,698	9,241			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0	0			
	総事業費 + +		千円	396,339	417,795	367,665	154,502	154,593	155,108			
	単位あたりコスト(-)÷		円	3,416,716	3,570,897	3,142,436	1,661,312	1,698,824	1,337,138			
	財源	受益者負担分		千円								
		国・都等からの支出金		千円								
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0	0				
差引: 一般財源 -		千円	396,339	417,795	367,665	154,502	154,593	155,108				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
18年度の主な取組み			内 容				規模	単位	事業費(千円)			
			運営に関する補助金				1	式	145,895			
			その他 ()						0			

平成19年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 805 枝番号

18年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 18年度達成率%	97.8	活動指標(2)の 18年度達成率%		18年度予算 執行率%	100.0
		17年度に続き、財団固有の職員を削減し、事業費が削減できた。					
前年度の改革案の取り組み状況 (19年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		平成16年度に出された「杉並区補助金適正化方針」に基づき、補助金そのものを見直していく。また、平成18年4月1日から指定管理者制度の導入により、施設の運営管理とその施設で行う事業については、全て委託料とした。これに伴い定額補助制度を廃止し、指定管理者としてより自立を促す。					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	指定管理者制度の導入により、補助金が大幅に削減され、財団としての経営努力が一層見込まれる。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	財団の実施するスポーツ教室等の事業に対する期待等があげられた。					
	今後の予測	指定管理者制度の導入により、補助金の大幅な見直しが見込まれたが、自立していくために、社会状況の変化や、区民の生涯スポーツ活動に関するニーズの高まりを新たな事業展開を行い、サービスの向上と教室参加者の拡充を推進していく。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいのか 貢献度 大(理由)	理由: 区のスポーツ振興に大きく寄与している。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できる(^) 成果向上のための方策 その他(具体的内容)	理由または具体的内容: 理由または具体的内容: 教室数を増やす。PRや教室の内容の充実を図り参加者数を増加させる。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ある(具体的内容)	理由または具体的内容: スポーツ教室の参加料の適正化					
	(4) コストを下げる余地はあるか ある [手段・方法の変更] (具体的内容)	理由または具体的内容: 指定管理者制度の導入することにより、補助金の一部を委託費へ移行することにより、大幅な削減が期待できる。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 社団法人・財団法人等公益団体(^)	協働等による成果と課題: 財団の自立運営を促進するため、運営補助金を支出。					
	(3) 協働等の形態 協働[補助・助成](具体的内容)						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input checked="" type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 平成18年度に指定管理者制度を導入し、体育関係団体、民間事業者等の協働を強化し、より区民のスポーツ活動を活性化させるサービスを提供する。また指定管理者制度の導入により、各施設人件費、教室事業等に関する経費を補助金から委託費へ移行させ、補助金のあり方を見直した。但し、上井草スポーツセンターは他の事業者が指定管理者となったため、その分においては、事業の減となる。	
20年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 協働で行う事業の質の確保に留意する必要がある。	
	(1) 20年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
(2) 理由 平成18年度に大幅な削減をしたため、特に無し。		

平成19年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名			生涯学習活動の支援					整理番号	806	枝番号		
担当部課名			教育委員会事務局社会教育スポーツ課		コード	601601	連絡先電話番号	1663	昨年度整理番号	812	昨年度枝番号	
係名			管理係		上位施策名				No			
予算事業名			生涯学習の推進		コード	81000	生涯学習環境の整備・充実				62	
事務事業の概要	事業開始年度			○昭和 ●平成		8年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 分野 5 政策番号 15 施策番号 62 事業コード				
	事業の種類			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理		<input checked="" type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業		根拠法令等				
	対象			<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 区内に活動の拠点を置き、文化・スポーツなどの「生涯学習活動」を年間を通じて継続的・計画的に行っている団体の指導者(無報酬)		(1) 社会教育法第2条 (2) 杉並区生涯学習活動の指導者傷害保険取扱要綱 (3)						
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手順)			加入団体を募集し、団体の指導者を被保険者として、区長が保険会社と契約し、保険料を支払う。		事業の目標(対象をどのような状態にしたいのか)		指導中に発生する事故に備えて、指導者の安心を確保し、指導者として地域で活動できる人材を確保すると同時に、安定した学習活動の場を提供する。				
	活動指標名(式)			(1) 加入指導者数 (2) 加入団体会員数		成果指標名(式) (代)=適当な指標がない場合の代替指標		(1) 加入団体数 (2) 補償件数				
区分		単位	16年度実績	17年度		18年度		19年度計画	目標値22年度	目標値に対する18年度の達成率%		
指標	活動指標(1)		人	4,143	4,250	3,846	4,250	3,883	4,250	4,500	86.3	
	活動指標(2)		人	76,967	90,000	76,915	90,000	64,894	90,000	90,000	72.1	
	成果指標(1)		団体	80	100	88	100	91	100	100	91.0	
	成果指標(2)		件	6	5	5	5	1	5	5	20.0	
総事業費・コスト把握	事業費		千円	580	582	579	2,345	1,347	2,605	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)		
	(内)投資的経費等		千円	0	0	0	0	0	0			
	(内)委託費		千円	0	0	0	0	0	0			
	職員数(常勤 非常勤)		人	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20	平成18年度より、教育委員会後援等名義使用に係る杉並公会堂利用料の負担金及び一般用品費が計上されている。		
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	1,820	1,812	1,812	1,812	1,812	1,812			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0	0			
	総事業費 ++		千円	2,400	2,394	2,391	4,157	3,159	4,417			
	単位あたりコスト(-)÷		円	579	563	622	978	814	1,039			
	財源	受益者負担分		千円	0	0	0	0	0			0
		国・都等からの支出金		千円	0	0	0	0	0			0
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0	0				
差引:一般財源 -		千円	2,400	2,394	2,391	4,157	3,159	4,417				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
18年度の主な取組み			内 容					規模	単位	事業費(千円)		
			指導者傷害保険					1	式	566		
			一般用品費					1	式	483		
			負担金					1	式	298		
			その他 ()							0		

平成19年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 806 枝番号

18年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 18年度達成率%	91.4	活動指標(2)の 18年度達成率%	72.1	18年度予算 執行率%	57.4
		広報による周知、団体活動・所轄部署からの周知等、必要最低限の費用で実施した。					
前年度の改革案の取り組み状況 (19年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		一日の稼働人数50人を越える場合が想定された。加入団体への補償を確実なものにするため、一日の稼働人数を100人とした。					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	生涯学習活動団体は、区民の文化意識、学習意欲の向上により年々増加している。また、団体内の学習にとどまらず、地域活動に貢献している団体も増えている。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	保険料の負担をすることがなく、指導者の補償があるので安心である。					
	今後の予測	各種団体は増加傾向にある。生涯学習活動に限らず地域社会に貢献している区民活動全般に視点を置いた制度への移行を検討する必要がある。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きい 貢献度 大(理由)	理由: 社会教育・生涯学習に貢献している団体指導者が、安心して活動を行うことができる。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる()	理由または具体的内容: 当該保険の加入率を上げる。					
	成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)	理由または具体的内容: 効果的なPRの方法、内容を検討し、制度の周知を図る。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 区が一括契約することで安価な保険料となっている。また、学習活動の活性化と団体の支援の観点から現状を維持する。					
(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 契約保険会社の料金指定によるため、コストを下げる余地はない。						
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 実現していない(実現は困難)(具体的内容)	協働等の今後のあり方:		<input type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input checked="" type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手	協働等による成果と課題: 区が一括契約することで安価な保険料となっている。					
	(3) 協働等の形態						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 自主的な区民活動を支援するために、生涯学習活動の指導者のみを対象とした現制度から、他都市で実施されている「(仮称)市民活動保険制度」のような新たな制度へ移行が考えられる。	
20年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 現在各主管課で加入している傷害保険契約の実態を整理し、重複加入している団体の状況を把握すると同時に関係機関との十分な調整が必要である。	
	(1) 20年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減な <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
(2) 理由 年々増加している生涯学習・社会教育団体の指導者が安心して活動できるように、同事業の周知を図る。		

平成19年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		土曜日学校				整理番号	807	枝番号	
担当部課名		教育委員会事務局教育改革推進課		コード	600904	連絡先 電話番号	1647	昨年度 整理番号	813
係名		学校支援係		上位施策名				No	
予算事業名		学校の支援		コード	81100	生涯学習環境の整備・充実			
事業開始年度		○昭和 ●平成		14年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 分野 4 政策番号 2 施策番号 2 事業コード 5 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業			
事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等					
対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 小・中学生		(1) 土曜日学校実施要綱 (2) (3)					
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		子どもたちや保護者、学校の求めに応じ、各小・中学校ごとに地域の 方々が実行委員会を立ち上げ、実行委員会が企画・運営する土曜日 学校を実施する。各実行委員会から提出される計画書、予算書を査定 し、分担金を実行委員会へ交付する。							
活動指標名(式)		(1) 実施学校数 (2)		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 土曜日の学校を舞台に子どもたちが地域の中で広く、さまざまなことに 挑戦、体験してほしい。学校週5日制実施前は、おおむね2回の土曜 日に学校があったため、1カ月に2回の土曜日学校実施を成果目標と し、対象の活動の場を作る。					
成果指標名(式)		(1) 実施学校数 (2)		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 一校あたり一ヶ月の実施回数 (2)					

区分	単位	16年度 実績	17年度		18年度		19年度 計画	目標値 22年度	目標値に対 する18年度 の達成率%		
			計画	実績	計画	実績					
指標	活動指標(1)	校	36	43	37	46	38	48	51	74.5	
	活動指標(2)										
	成果指標(1)	回	1.48	2	1.56	2	1.43	2	2	71.5	
	成果指標(2)										
総事業費・ コスト把握	事業費	千円	9,630	17,902	15,220	18,832	9,492	19,452	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など) 17年度事業費の委託 費には、予算未計上の プラットフォーム事業が 含まれているため、事 業費が増加している。		
	(内) 投資的経費等	千円	0	0	0	0	0	0			
	(内) 委託費	千円	0	2,000	5,687	2,000	498	2,000			
	職員数(常勤 非常勤)	人	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00			
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	9,100	9,060	9,060	9,060	9,060			9,060
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0			0
	総事業費 + +	千円	18,730	26,962	24,280	27,892	18,552	28,512			
	単位あたりコスト(-)÷	円	520,278	627,023	656,216	606,348	488,211	594,000			
	財源	受益者負担分	千円	0	0	0	0	0			0
		国・都等からの支出金	千円	0	0	0	0	0			0
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0	0			
差引:一般財源 -		千円	18,730	26,962	24,280	27,892	18,552	28,512			
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				

18年度の主な取組み	内 容		規模	単位	事業費(千円)
	土曜日学校の実施		38	校	9,492
	その他 ()				0

平成19年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 807 枝番号

18年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 18年度達成率%	82.6	活動指標(2)の 18年度達成率%	18年度予算 執行率%	50.4
		新規実施校は当初計画数を下回った。				
前年度の改革案の取り組み状況 (19年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)						
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	事業開始から5年目となり、実施校では実施内容が充実してきている。その反面、新規実施校がだんだん少なくなっている。				
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	土曜日学校実行委員会が、企画から実施まで一貫して行っており、地域から期待されている。しかし、実行委員会メンバーが変わると会計事務等が分からなくなり、苦労している面も見られる。そのためメンバー変更時には、積極的にアドバイスを行っている。				
	今後の予測	小・中学校67校中、すでに38校が実施しており、今後の新規実施校は少なくなるものと思われる。また、従来は小学校での実施が大きいうエートを占めていたが、これからは中学校に移りつつあるように予想される。今後は、教育再生会議で議論されている学校週5日制の見直しも大きく影響する。				
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 実行委員会と教育委員会の協働という形で実施されている。				
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる() 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)	理由または具体的内容: 理由または具体的内容: 内容により参加者数が大きく異なるので、魅力ある事業を実施して参加者数を増やす。				
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 初年度から、自宅に持ち帰る教材や料理教室などでは受益者負担を実践している。				
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 各実行委員会ともボランティアで実費弁償程度の金額で実施しており、これ以上の削減は難しい。				
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	協働等の今後のあり方:	<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(^)	協働等による成果と課題 土曜日学校実行委員会が企画から実施までを行い、区は共催分担当を支出している。				
	(3) 協働等の形態 協働[補助・助成](具体的内容)					

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 今年度「杉並行政サービス民間事業化提案制度」のモデル事業の「地域ぐるみによる学校への地域支援総合推進事業」に選出されているため、従来の申請・報告等事務処理の窓口がNPOに変更になる。さらに今後、実施計画に基づき、平成22年度までに各学校の学校支援本部事業に本事業が統合される。	
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 「教育改革の推進」や「ゆとり教育」の見直しに伴い、土曜日学校の仕組みは今後変わっていくことが想定される。実行委員会への情報提供やアドバイスは、地域のこと、学校のこと、PTAのことに精通したNPOから行われることで、各実行委員会のニーズに合わせたサポート体制となる。	
20年度方針	(1) 20年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減な <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	土曜日に関する学校の状況に大きな変化がない場合、その予算は、地域の力による実行委員会の立ち上げという特殊な事情があるため、開設が想定される学校数分を持つ必要がある。

平成19年度 杉並区事務事業評価表

整理番号	808	枝番号	
------	-----	-----	--

18年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	活動指標(1)の 18年度達成率%	82.0	活動指標(2)の 18年度達成率%	18年度予算 執行率%	109.4
		参加については、45組の申込があり、当日は41チーム、164名(最年少2歳、最高齢72歳)が参加した。			
前年度の改革案の取り組み状況 (19年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		大会のPRを実施し、昨年度を若干上回る申込みがあった。			
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	「老若男女、障害のある方も楽しめる」「家族だけでなく、地域や職場の仲間でも参加できる」「競技ではなく、祭りとして楽しむ要素を大切にする」等をキーワードに、平成14年度から事業を始めた。開始当初に比べ、区民への周知が進み、参加者も年々増加しており、区民のイベントとして定着しつつある。			
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	事業に対しては、速度を競う方式ではなく、自己申告のタイムにより近いチームが優勝する「宣言タイム制」を導入したため、当初の目標であった「老若男女、障害のある方」からも非常に好評である。要望としては、「更にコースを長く」「チーム数を増やして欲しい」など、この事業に対して期待が感じられる意見が多くみられる。			
	今後の予測	速度や体力を競う方式ではなく、子どもや老人がいても、それぞれの体力に応じて競うことができるスポーツ事業は少ないため、様々な年代の方から支持を受けている。既に3回の開催実績があり、毎年参加者が増えていることから、このような事業に対する需用は大きいとみられ、今後益々の発展が期待される。			
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 区の事業として周知を徹底することにより、区民の注目を集め、スポーツへの関心を高めた。また、駅伝を通じて走ることの楽しさと連帯感を醸成した。			
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できる(^) 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)	理由または具体的内容: 理由または具体的内容: ファミリー駅伝の周知に努め、参加者の増加を図る。			
	(3) 受益者負担の見直し余地は ある(具体的内容)	理由または具体的内容: 参加費の徴収も考えられる。			
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 必要最低限の経費で実施している。			
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 一部実現している(^)	協働等の今後のあり方:	<input type="radio"/> 実施継続 <input checked="" type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄		
	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(^)	協働等による成果と課題: 事業の実施運営にあたって、地域活動団体に協力をしてもらっている。			
	(3) 協働等の形態 協働[事業協力](具体的内容)				

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 ファミリー駅伝の知名度を上げ、参加者の増加を図る。	
20年度方針	(1) 20年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	特になし。

平成19年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		社会教育セミナー						整理番号	811		枝番号							
担当部課名		教育委員会事務局社会教育スポーツ課		コード	601616		連絡先電話番号	4712		昨年度整理番号	816		昨年度枝番号					
係名		社会教育センター						上位施策名		No								
予算事業名		成人教育		コード	81800		生涯学習環境の整備・充実		62									
事務事業の概要	事業開始年度		○昭和 ●平成		18年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野 <input type="checkbox"/> 政策番号 <input type="checkbox"/> 施策番号 <input type="checkbox"/> 事業コード											
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業											
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		区内在住・在勤・在学者		根拠法令等		(1) 社会教育法第5条 (2) 杉並区立社会教育センター条例 (3) 社会教育セミナー実施要綱									
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		区民の方々の社会参加や社会貢献意欲が、地域づくりにつながる学習の場となるような講座を開催する。講座の企画・運営・評価については、社会教育事業推進委員会(愛称:車座委員会)と協働で行う。				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)		課題等に対する学習により、杉並らしい活動の主体に育つこと、地域における多様な連携の場を創り出していく力を高めていくことを目指す。									
	活動指標名(式)		(1) 講座参加者数 (2) 開催講座数				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標		(1) 自治活動移行率(活動継続者数 ÷ 講座最終日参加者数) (2)									
区分		単位	16年度実績		17年度		18年度		19年度計画		目標値22年度	目標値に対する18年度の達成率%						
指標	活動指標(1)		人	511		220		426		80		41		40		40	102.5	
	活動指標(2)		コース	17		13		17		4		1		2		2	50.0	
	成果指標(1)		%							50		65		70		70	92.9	
	成果指標(2)																	
総事業費・コスト把握	事業費		千円	4,752		6,864		5,593		2,587		783		1,887		特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)		
	(内) 投資的経費等		千円							0		0		0				
	(内) 委託費		千円	3,702		3,600		3,434		1,580		300		880				
	職員数(常勤 非常勤)		人	1.26	0.67	1.16	0.66	1.71	1.00	0.40	0.20	0.40	0.20	0.50	0.10	区民参画による人材育成講座運営を特徴としてきた「すぎなみコミュニティカレッジ」を引き継ぐため、平成18年度から社会教育セミナーを新設した。またそれにあわせ、事業目標をより意識した成果指標に変更した。		
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	11,466		10,510		15,493		3,624		3,624		4,530			
		非常勤職員分		千円	1,930		1,907		2,890		566		566		283			
	総事業費 ++		千円	18,148		19,281		23,976		6,777		4,973		6,700				
	単位あたりコスト(-) ÷		円	35,515		87,641		56,282		84,713		121,293		167,500				
	財源	受益者負担分		千円	0		60		140		0		0		0			
		国・都等からの支出金		千円	0		0		0		0		0		0			
特定財源計 +		千円	0		60		140		0		0		0					
差引: 一般財源 -		千円	18,148		19,221		23,836		6,777		4,973		6,700					
受益者負担比率 ÷		%	0.0		0.3		0.6		0.0		0.0		0.0					
18年度の主な取組み		内 容						規模	単位	事業費(千円)								
		フォローアップ講座						1	講座	100								
		講座委託						1	講座	300								
		運営事務費(需用費、役務費等)						1	式	383								
		その他 ()								0								

平成19年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 811 枝番号

18年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 18年度達成率%	51.3	活動指標(2)の 18年度達成率%	25.0	18年度予算 執行率%	30.3
		区民参画の組織「社会教育事業推進委員会(愛称:車座委員会)」が中核となり、具体的な学習課題を提示しながら、区民の方々の主体形成を目指す社会教育の場として開催。18年度予算計上時、「すぎなみ地域大学」の方向性が定まっていなかった関係で「子ども読書活動推進計画」にある人材育成講座二講座分を含めていたものが未執行となったことが、達成率・執行率を低くしている。					
前年度の改革案の取り組み状況 (19年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		車座委員会との協働により、参加者の主体性尊重、社会の先駆的な課題に取り組む社会教育事業として、その特徴を生かしたモデル的な講座運営を行っていく。「子ども読書活動推進計画」が改定されたことに伴い、人材育成講座二講座分を削減した。					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	地域の方々が自治の担い手となってその力を発揮していくには、区民の主体性を尊重した学習機会の提供が求められている。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	成人を対象とした、主体形成に向けた講座に関しては、テーマ設定における区民の参画機会づくりや、講座運営における参加型学習方法の導入などに配慮していく必要がある。					
	今後の予測	分権型のまちづくりを進めるうえで、住民の「まちへの愛着」醸成はますます重要になってくる。そのきっかけとなる学習機会の提供は、区民参画・協働によりさらに多様に活発に提供していくことが求められている。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいのか 貢献度 大(理由)	理由: 区民がさまざまな形で経営に参加する自治体運営は、地方分権の時代に大事な柱であり、そのためにも、区民が自ら力量を高めていく学習の機会が必要である。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる() 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)	理由または具体的内容: 理由または具体的内容: 社会教育事業推進委員会の関わりを明確に位置づけることで、さらに活発な事業展開が可能となる。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 社会教育事業推進委員会の意見を踏まえ、講座の内容等により、適宜受益者負担の有無を判断している。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 既に見直しをおこなっており、コストを下げる余地は現時点ではない。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(^)	協働等による成果と課題: 社会教育セミナーは、行政ニーズと区民の学習ニーズのすりあわせを、区民参画の社会教育事業推進委員会で行っている。また、実際の講座の企画や運営については、NPO等への委託を中心に行っている。					
	(3) 協働等の形態 協働[実行委員会・協議会](具体的内容)						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうするかたち) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 区民の参画と協働により、行政や個人・民間のみでは実現しにくい多様な事業展開を行う「社会教育事業推進委員会」とセミナーの企画運営主体を明確にする。	
20年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 社会教育事業推進委員との協議を重ね、セミナーの目的・委員会の役割等を共通認識としていく。	
	(1) 20年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
(2) 理由 「社会教育事業推進委員会」が参画しているメリットを最大限引き出せるよう、執行方法を見直す。		

平成19年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		区民企画講座						整理番号	812		枝番号			
担当部課名		教育委員会社会教育スポーツ課		コード	601616		連絡先電話番号	4712		昨年度整理番号	817		昨年度枝番号	
係名		社会教育センター						上位施策名		No				
予算事業名		成人教育		コード	81800		生涯学習環境の整備・充実		62					
事務事業の概要	事業開始年度		○ 昭和 ● 平成		1 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野		政策番号	施策番号	事業コード			
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業		根拠法令等					
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		区内在住、在勤在学で18歳以上の者		(1) 教育基本法第7条第1項		(2) 社会教育法第3条、第5条第11項第1号第6号第13号第14号					
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）		「若者」「おやじ」等、対象やテーマ、地域を絞り公募した企画運営委員が、区民を対象とした講座を企画運営する。				(3) 杉並区社会教育センター条例		事業の目標（対象をどのような状態にしたいのか）					
	活動指標名(式)		(1) 企画会議・講座の延べ参加者数		(2) 企画会議・講座の開催回数		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標		(1) 講座応募者 ÷ 講座定員					
								(2) 主要活動企画運営委員数 ÷ 企画運営委員定数 (12名)						
指標	区分		単位	16年度実績	17年度		18年度		19年度計画	目標値22年度	目標値に対する18年度の達成率%			
	活動指標(1)		人	725	1,000	432	1,000	469	1,000	1,000	46.9			
	活動指標(2)		回	71	75	70	75	69	75	75	92.0			
	成果指標(1)		%	184	100	43	100	231	100	100	231.0			
	成果指標(2)		%	133	100	93	100	143	100	100	143.0			
総事業費・コスト把握	事業費		千円	650	1,089	518	1,089	656	1,088	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)				
	(内) 投資的経費等		千円	0	0	0	0							
	(内) 委託費		千円	0	0	0	0							
	職員数(常勤 非常勤)		人	0.90 1.01	0.54 1.01	0.53 0.90	0.40 0.90	0.40 0.90	0.60 0.90					
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	8,190	4,892	4,802	3,624	3,624	5,436				
		非常勤職員分		千円	2,909	2,919	2,601	2,547	2,547	2,547				
	総事業費 ++		千円	11,749	8,900	7,921	7,260	6,827	9,071					
	単位あたりコスト(-) ÷		円	16,206	8,900	18,336	7,260	14,557	9,071					
	財源	受益者負担分		千円	0	0	0	0						
		国・都等からの支出金		千円	0	0	0	0						
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0	0						
差引: 一般財源 -		千円	11,749	8,900	7,921	7,260	6,827	9,071						
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						
18年度の主な取組み		内 容						規模	単位	事業費(千円)				
		謝礼(講師謝礼、企画運営委員報償費)						2	種	447				
		運営事務費(通信費、記録集作成、消耗品)						1	式	209				
		その他 ()								0				

平成19年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 812 枝番号

18年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	活動指標(1)の 18年度達成率%	46.9	活動指標(2)の 18年度達成率%	92.0	18年度予算 執行率%	60.2
	「若者」の講座では、継続して参加する企画運営委員が少なかったため、実績に応じて支払っている企画運営委員報償費が一部未執行となった。また、18年度は、井草社会教育会館の廃止に伴い「井草」地域で会議を開催していた講座を休止とした。					
前年度の改革案の取り組み状況 (19年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	企画運営委員の募集を広報・チラシ・ホームページ等で行い、企画会議への参加を広く呼びかけた。また、講座開催時に、参加者に企画運営委員としての活動を呼びかけた。					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	様々な学習機会が提供されるようになった中で対象者や各地域の特性を生かしながら、区民による学習内容の企画、運営は、自由な発想と参加しやすい形態で、受講者に満足度の高い講座等を提供している。14年度は1講座休止したが、15年度には再開し3講座とした。18年度は、井草社会教育会館の廃止に伴い「井草」地域で会議を開催していた講座を廃止とした。				
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	区民の視点が活かされた気軽に参加できる講座は、区民同士の交流が生まれ、地域への愛着を育てているという点で有意義であるという意見が多い。また、企画運営委員をされた方からは、区の施策や区内のさまざまな活動を知ることができたことでの満足感が高い。				
	今後の予測	社会情勢、ライフスタイルの変化等に伴い、若い企画委員の減少、団塊の世代の企画委員の増加が予想される。また、様々な場面で、若い世代の参加者減、団塊の世代の参加者増が予想される。				
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 参加型の講座を多く取り入れ、企画運営委員が講師やサポートを行い、受講者と密接に話し合い創り上げることにより、地域やコミュニティに参加の動機付けをすることができる。				
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できる(^) 成果向上のための方策 その他(具体的内容)	理由または具体的内容: 理由または具体的内容: 企画テーマの絞込みや企画運営委員向けのオリエンテーション実施、他の講座と連動させ参加者のステップアッププログラムとする等で、委員の意欲を高め、地域活動への広がり促す。				
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 企画講座は参加費として実費を徴収している。				
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 主な経費が企画講座の講師への謝礼及び企画運営委員への報償費(実費弁償)である。事業の目的を達成するためには企画会議及び講座の実施回数を維持することが必要であり、軽減は難しい。				
	(5) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	協働等の今後のあり方: <input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄				
協働等点検	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(^)	協働等による成果と課題 一般区民向けの講座開催を目的としながら、その過程での企画運営委員と職員の対話を重視している。そうした会議の積み重ねのなかで杉並への理解を深め、地域やコミュニティへの参加の動機付けとなっている。また、職員にとっては、地域の実情を踏まえ職務に生かす機会となっている。				
	(3) 協働等の形態 協働[その他](具体的内容)					
	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	協働等の今後のあり方: <input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄				

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうするかたち) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 行政サービスと関わりが薄かったり、サービスの受け手であった区民が、企画運営委員となって社会教育活動に主体的に参画できる機会とする。 本事業は区内各地域の特色(地域性、ニーズ等)を反映して行ってきたが、会館等の廃止に伴い新たな位置づけ、テーマの明確化等を確立させていく。	
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 にほんご教室と連動し「区内外国人」を対象とする、学校区等すでにまとまりのあるコミュニティと連動する等、対象・テーマ・地域の絞り方を工夫する。 魅力的な講座開催をきっかけに企画運営委員を公募するなど、関心を掘り起し参加者層の裾野を広げる。 若者が興味を示せるよう検討する。	
20年度方針	(1) 20年度予算見積の方向性 <input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減な <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし	
	(2) 理由 講座数、講座回数・内容等の大幅な枠組みの変更は予定していないが、区民の視点が活かされた気軽に参加できる講座としの特徴が新たな地域活動参加層の広がりにつながるよう、他の事業との連携を視野に入れながら「対象」「テーマ」「地域」等の設定を適時行っていく。 若者に興味を持ってもらえるよう検討する。	

平成19年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		大学公開講座				整理番号	813	枝番号				
担当部課名		教育委員会事務局社会教育スポーツ課		コード	601616	連絡先 電話番号	4712	昨年度 整理番号	818	昨年度 枝番号		
係名					社会教育センター			上位施策名		No		
予算事業名					成人教育			コード		81800	生涯学習環境の整備・充実	62
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		60 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野 <input type="checkbox"/> 行革計画事業		政策番号	施策番号	事業コード	
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				<input type="checkbox"/> 協働計画事業		根拠法令等			
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		原則として、区内在住・在勤・在学者		(1) 大学公開講座実施要綱 (2) 杉並区教育委員会後援等名義使用承認事務取扱要綱 (3)					
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		区内の大学と共催して公開講座を開催する。区は広報等で情報の提供及び分担金の支出を行う。		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)		大学の持つ教育力を地域に開放して、区民の学習要求に応える。					
	活動指標名(式)		(1) 講座延べ回数 (2) 実施大学数		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標		(1) 受講者 ÷ 応募者 (2)					
指標	区分	単位	16年度実績	17年度		18年度		19年度計画	目標値 22年度	目標値に対する18年度の達成率%		
	活動指標(1)	回	77	90	70	95	71	95	100	71.0		
	活動指標(2)	校	6	6	6	6	6	6	6	100.0		
	成果指標(1)	%	90	92	100	100	96	100	100	96.0		
	成果指標(2)											
総事業費・コスト把握	事業費	千円	2,280	2,850	2,180	2,950	2,240	2,950	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)			
	(内) 投資的経費等	千円										
	(内) 委託費	千円										
	職員数 (常勤 非常勤)	人	0.36 0.00	0.22 0.00	0.43 0.00	0.40 0.00	0.40 0.00	0.40 0.00	0.40 0.00			
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	3,276	1,993	3,896	3,624	3,624	3,624			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0	0			
	総事業費 + +	千円	5,556	4,843	6,076	6,574	5,864	6,574				
	単位あたりコスト(-) ÷	円	72,156	53,811	86,800	69,200	82,592	69,200				
	財源	受益者負担分	千円									
		国・都等からの支出金	千円									
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0	0				
差引: 一般財源 -		千円	5,556	4,843	6,076	6,574	5,864	6,574				
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
18年度の主な取組み	内 容							規模	単位	事業費(千円)		
	大学公開講座分担金							6	校	2,240		
	その他 ()									0		

平成19年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 813 枝番号

18年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 18年度達成率%	74.7	活動指標(2)の 18年度達成率%	100.0	18年度予算 執行率%	75.9
		概ね、例年通りに実施。					
前年度の改革案の取り組み状況 (19年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		具体的なテーマは未定であるが、19年度新シリーズ講座を企画している大学もあり各校工夫を凝らしている。					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	公開講座実施当初(昭和60年)4校。現在、区内全ての大学(6校)で実施。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	各大学とも、特色ある講義内容であり、好評である。各校ともリピーターが多い。					
	今後の予測	連携協定に東京女子大学の参加を働きかけつつ、大学公開講座と協働、協調できることを目指す。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 区民の学習意欲を満たす魅力ある講座を各大学が企画し好評である。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できる(^) 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)	理由または具体的内容: 理由または具体的内容: 例えば、夜間の講座、土日の講座開催等新しい受講生を掘り起こす。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 高額ではないが、一定の受講料(資料代)を徴収しているが、今以上の負担増は、受講者減要素となると考える。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 各大学にこれ以上の負担増は協力を得にくい。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 社団法人・財団法人等公益団体(^)	協働等による成果と課題 大学連携協議会との関係を考慮しながら、現状を維持する。					
	(3) 協働等の形態 協働[補助・助成](具体的内容)						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 区民の学習要求へ応えるよう、区内大学の教育力を有効活用し、生涯学習の機会を充実させていく。	
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 区内大学との協力体制の強化 講座が競合しないよう、実施時期等大学側との情報連絡体制を強化する。	
20年度方針	(1) 20年度予算見積の方向性 <input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減な <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし	
	(2) 理由 区内大学間及び行政と情報交換体制強化 区民ニーズ等に合った講座の構築	

平成19年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		済美日曜教室				整理番号	815		枝番号		
担当部課名	社会教育スポーツ課		コード	601616		連絡先電話番号	4712		昨年度整理番号	822	
係名	社会教育センター		上位施策名						No		
予算事業名	済美日曜教室		コード	82300		生涯学習環境の整備・充実				62	
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		44 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野		政策番号	施策番号	事業コード
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				<input type="checkbox"/> 行革計画事業		<input type="checkbox"/> 協働計画事業		
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他				根拠法令等				
	区内在住の特別支援学級・特別支援学校卒業者及び愛の手帳所持者で、教室開催場所に一人であることができる者						(1) 社会教育法第5条 (2) 済美日曜教室実施要綱 (3)				
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		有償ボランティアの企画・運営により、学習・スポーツ・レクリエーション等の教室を年16回開催する。				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 障害を有する人々の一般教養の向上を図ると共に、仲間づくりを行い、生き生きとした生活を送ることが出来るようにする。また、一般区民をボランティアスタッフとして参加してもらうことにより、障害者への理解や交流を図り、障害者との隔たりのない社会の実現に貢献する。				
	活動指標名(式)		(1) 年参加延べ人数 (2) 開催回数				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 平均参加者数 / 参加者登録数 (%) (2) ボランティアスタッフ延べ参加人数 / 参加者延べ人数 (%)				
区分		単位	16年度実績		17年度		18年度		19年度計画	目標値22年度	目標値に対する18年度の達成率%
指標	活動指標(1)		人	1,122	1,060	912	1,060	890	1,060	1,061	83.9
	活動指標(2)		回	19	16	16	16	16	16	16	100.0
	成果指標(1)		%	53.68	60	57	60	55	80	80	68.2
	成果指標(2)		%	38.00	50.00	42.00	50.00	40	50	50	80.6
総事業費・コスト把握	事業費		千円	4,600	5,694	4,414	5,951	4,228	5,944	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)	
	(内) 投資的経費等		千円								
	(内) 委託費		千円								
	職員数 (常勤 非常勤)		人	0.72 0.00	1.08 0.50	1.17 0.30	1.00 0.40	1.20 0.20	1.20 0.40		
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	6,552	9,785	10,600	9,060	10,872	10,872	
		非常勤職員分		千円	0	1,445	867	1,132	566	1,132	
	総事業費 + +		千円	11,152	16,924	15,881	16,143	15,666	17,948		
	単位あたりコスト(-)÷		円	9,939	15,966	17,413	15,229	17,602	16,932		
	財源	受益者負担分		千円							
		国・都等からの支出金		千円							
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0	0			
差引: 一般財源 -		千円	11,152	16,924	15,881	16,143	15,666	17,948			
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			
18年度の主な取組み		内 容				規模	単位	事業費(千円)			
		体験学習				2	回	1,434			
		教養講座				12	回	1,137			
		運営管理(講師・ボランティア研修、運営事務費)				1	式	931			
		レクリエーション				2	回	726			
		その他 ()						0			

平成19年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 815 枝番号

18年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	活動指標(1)の 18年度達成率%	84.0	活動指標(2)の 18年度達成率%	100.0	18年度予算 執行率%	71.0
本事業予算の約60%をボランティアスタッフの報償費が占めている。本事業は、日曜日に実施しており、一般区民のボランティアの人数が減少傾向にある。						
前年度の改革案の取り組み状況 (19年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	本事業に関し、専門ボランティアをある程度確保しているNPO団体等との連携、参加者の障害の程度によるクラス分け等、事業の安定した運営とニーズに合ったサービスの提供について調査研究を行っている。 また、参加者の高齢化、程度の重度化に伴い、関係部署との連携及び本事業の見直し等も合わせて行っている。					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	区内愛の手帳所持者数の推移 総数(1・2年度者数+3・4年度者数) S44=129人(不明)、S54=185人(82+103)、H2=1,229人(376+853)、H10=1,413人(475+938)、H15=1,597人(543+1054)、H17=1,648(551+1,097)、H18=1,720(569+1,151)、H19=1,780(579+1,201)				
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	障害を持った方の生涯学習の機会の場、日曜日の活動の場、仲間づくりの場としての区民の期待は大きい。				
	今後の予測	区内愛の手帳所持者の推移から、参加希望者は増加の傾向にあるものと推察される。また、参加者の高齢化、重度障害者の参加増等による参加者の本事業に対するニーズの多様化が予測される。また、ボランティアの募集を行っているが、希望者が少なく、将来的にボランティアの不足が予想される。				

事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 知的障害を持つ人たちの学習の機会、特に日曜日に活動する機会は健全者のそれと比べてかなり少なく、本事業の存在意義は大きい。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる() 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)	理由または具体的内容: 理由または具体的内容: 現在の事業の運営方法は障害の程度の軽度、重度にかかわらず、参加者が一緒に活動している。障害の程度別にクラス分けを行い、参加者のニーズに合った事業運営を行っていく。
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 年間登録料として1,000円、体験学習等に掛かる実費等を参加者が負担しているため見直しの必要はない。
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 事業費の大半が講師・ボランティアに対する謝礼金が占めている。事業を安全に運営するための必要最低限の人数を基準に算出しているため、コスト削減の余地はない。

協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 一部実現している(^)	協働等の今後のあり方: <input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄
	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(^)	協働等による成果と課題: 専門的な知識及び経験を持った講師・ボランティアと協働して事業を行うことにより、質の高いサービスの提供、安定した事業運営ができる。
	(3) 協働等の形態 協働[その他](具体的内容)	

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 区内の愛の手帳所持者数の推移から、本事業に対する区民の需要は増加すると思われる。しかし、事業運営を安定的に行うには専門的な知識を持った講師・ボランティアの確保が重要である。また、参加者の高齢化、障害の程度の重い方の増加の傾向がある。よって、専門知識を持ったボランティアを確保している団体との連携及び区内大学・商工会議所・町会等幅広くボランティア募集の働きかけを行っていく、障害の程度別等にクラス分けを行い、参加者のニーズに合ったサービスの提供など事業の運営方法を見直す等行っていく必要がある。また、参加者の高齢化、障害の程度の重度化に対応するため、関係部署等との連絡調整を図っていく必要がある。	
20年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 関係部署である障害者部門には土曜日曜に障害者を受け入れる事業が無い。区民の土日のデイケアに対する要望を踏まえて、それぞれ協力若しくは分担して事業を進めていくように協議を行っていく。 専門ボランティアをある程度確保しているNPO団体等の連携協力の仕組みについて調査研究する。 区内大学、商工会議所、町会等幅広くボランティア募集について働きかけを行う。	
	(1) 20年度予算見積の方向性 <input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減な <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし	(2) 理由 講座回数等大幅な変更は予定していない。ただし、講座内容の更なる充実のため、ボランティアスタッフとの打合せの回数を増やす予定である。そのため実費弁償に相当する報償費を増やす予定である。なお、19年度に引き続き下記の事項を行う予定である。 ボランティア団体との連携の研究を行う。 区内大学、商工会議所、町会等幅広くボランティア募集について働きかけを行う。 事業運営の見直しについての調査研究を行う。 関係部署との連絡調整を行っていく。

平成19年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		施設維持管理・運営管理						整理番号	816	枝番号	
担当部課名		教育委員会事務局社会教育スポーツ課		コード	601616	連絡先電話番号	4712	昨年度整理番号	823	昨年度枝番号	
係名		社会教育センター						上位施策名	No		
予算事業名		社会教育センター維持管理		コード	82500	生涯学習環境の整備・充実			62		
事務事業の概要	事業開始年度		○昭和 ●平成		1年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野		政策番号	施策番号	事業コード
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業				
	対象		<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 施設を利用する個人及び団体				根拠法令等 (1) 教育基本法 (2) 社会教育法第2.3.5.7.条 (3) 杉並区立社会教育センター及び同条例施行規則				
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		社会教育センターの維持管理・運営に関すること。				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 区民の学習の機会と場の提供をするという見地から、より安全、快適な利用ができるようにする。				
	活動指標名(式)		(1) 施設利用回数 (2)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 施設利用回数 ÷ 施設利用可能回数 (2)				
指標	区分	単位	16年度実績	17年度		18年度		19年度計画	目標値22年度	目標値に対する18年度の達成率%	
	活動指標(1)	回	6,215	8,643	5,656	8,639	5,371	7,903			
	活動指標(2)	件									
	成果指標(1)	%	72	100	66	100	63	100			
	成果指標(2)										
総事業費・コスト把握	事業費	千円	85,208	89,714	72,931	88,541	81,353	92,634	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)		
	(内) 投資的経費等	千円									
	(内) 委託費	千円	67,021	65,625	50,193	65,450	59,150	65,992			
	職員数(常勤 非常勤)	人	0.99 0.00	0.84 0.00	1.17 0.00	1.70 0.00	1.60 0.50	1.60 0.40			
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	9,009	7,610	10,600	15,402	14,496	14,496		
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	1,415	1,132		
	総事業費 + +	千円	94,217	97,324	83,531	103,943	97,264	108,262			
	単位あたりコスト(-) ÷	円	15,160	11,260	14,769	12,032	18,109	13,699			
	財源	受益者負担分	千円	22,178	22,125	26,984	22,720	28,881	24,700		
		国・都等からの支出金	千円								
特定財源計 +		千円	22,178	22,125	26,984	22,720	28,881	24,700			
差引: 一般財源 -		千円	72,039	75,199	56,547	81,223	68,383	83,562			
受益者負担比率 ÷	%	23.5	22.7	32.3	21.9	29.7	22.8				
18年度の主な取組み	内 容		規 模		単 位	事業費(千円)					
	センター保守管理委託		1		式	59,150					
	センター光熱水費		1		式	12,160					
	センター運営費(図書費、通信費、負担金、備品購入、賃借料)		1		式	6,425					
	センター維持管理費		1		式	3,618					
その他 ()					0						

平成19年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 816 枝番号

18年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 18年度達成率%	62.2	活動指標(2)の 18年度達成率%	18年度予算 執行率%	91.9
		概ね予算どおり執行された。				
前年度の改革案の取り組み状況 (19年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		18年度は、ホールの音響バックアップアンプシステム設備(営繕課緊急工事 客席椅子張替え(営繕課緊急工事) 楽屋ファンコイル改修 舞台照明改修(調光卓) 客席扉塗り替え布団張り(緊急工事)、展示室の壁塗り替えを実施				
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	開設後19年が経過し、建物のみならず、付帯設備・備品類等に修理・修繕・買い替えが必要となっている。				
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	AV機器等旧式の機種も多く、最新の機種導入の要望がある。				
	今後の予測	19年度は、ホール監視カメラ設置工事・舞台機構操作盤更新・デジタル時計装置交換を予定。				
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 区民及び団体の活動の拠点としての貢献度は大きい。				
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由) 成果向上のための方策 その他(具体的内容)	理由または具体的内容: 経年劣化による修繕すべき箇所が多い。 理由または具体的内容: 付帯設備・備品等の修繕・交換について、今後効率的に修繕工事等を実施するためには、長期的な計画を策定する必要がある。そのため、舞台設備・運営に精通した業者による調査委託を実施する。				
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 公共性を考えると、使用料を値上げすることは理解を得難い。				
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 経年劣化に伴い、今後修繕費の増大が予想される。				
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄		
	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者(^)	協働等による成果と課題 セシオン杉並(社会教育センター併設高円寺地域区民センター)の受付、清掃、有人警備、舞台管理、各種メンテナンスに関しては、業者に委託している。				
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容)					

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 施設の改修、付帯設備・備品類の修繕・修理・買い替えを計画的に実施する。	
20年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 財政面での制約があるので、設備改修経費を年次計画として予算化することが課題である。	
	(1) 20年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減な <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
(2) 理由 経年劣化による緊急修繕が増加している。今後も修繕の緊急度の高い設備から改修するため、20年度にホール改修計画の調査委託を実施する。		

平成19年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		社会教育事業推進組織運営						整理番号	817		枝番号				
担当部課名		社会教育スポーツ課		コード	601616		連絡先電話番号	4712		昨年度整理番号	824		昨年度枝番号		
係名		社会教育センター						上位施策名		No					
予算事業名		社会教育センター運営管理		コード	81700		生涯学習環境の整備・充実		62						
事務事業の概要	事業開始年度		○ 昭和 ● 平成		13 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野 <input type="checkbox"/> 政策番号 <input type="checkbox"/> 施策番号 <input type="checkbox"/> 事業コード								
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業								
	対象		<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 社会教育事業推進委員ほか				根拠法令等 (1) 社会教育法第3条 (2) 杉並区自治基本条例 (3) 杉並区社会教育事業推進委員会設置要綱								
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		学習や文化活動等に関わる個人を委嘱し、概ね月一回定例で連絡・協議を行うとともに、区民の参画と協働により、行政や個人・民間のみでは実現しにくい多様な事業展開を行う。また委嘱した12名の委員に限らない、多くの区民の参画・交流・学習の機会として車座トークを展開し、連絡・協議内容の多様性・公共性を確保している。				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 講座の実施・社会教育活動実践者の交流学習・情報収集や提供・調査研究委員等を行うことで社会教育事業の推進に寄与する。								
	活動指標名(式)		(1) 委員会議題件数 (2) 車座トーク参加者数				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 事業推進率(事業関与 ÷ 議題件数) (2) 車座トーク参加率(参加者数 ÷ トーク定員)								
指標	区分	単位	16年度実績		17年度		18年度		19年度計画		目標値22年度	目標値に対する18年度の達成率%			
	活動指標(1)	件	45		36 58		36 65		36		36	180.6			
	活動指標(2)	人	87		90 62		90 51		90		90	56.7			
	成果指標(1)	%	93		80 87		80 86		80		80	107.5			
	成果指標(2)	%	97		70 52		70 63		70		70	90.0			
総事業費・コスト把握	事業費	千円	679		1,012		717		862		836		860		特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)
	(内) 投資的経費等	千円	0		0		0		0		0		0		
	(内) 委託費	千円	0		0		0		0		0		0		
	職員数(常勤 非常勤)	人	1.26	0.33	1.21	0.33	0.75	0.20	0.80	0.40	0.90	0.40	0.70	0.30	
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	11,466		10,963		6,795		7,248		8,154		6,342	
		非常勤職員分	千円	950		954		578		1,132		1,132		849	
	総事業費 + +	千円	13,095		12,929		8,090		9,242		10,122		8,051		
	単位あたりコスト(-) ÷	円	291,000		359,139		139,483		256,722		155,723		223,639		
	財源	受益者負担分	千円												
		国・都等からの支出金	千円												
特定財源計 +		千円	0		0		0		0		0		0		
差引: 一般財源 -		千円	13,095		12,929		8,090		9,242		10,122		8,051		
受益者負担比率 ÷	%	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0			
18年度の主な取組み	内容		規模		単位	事業費(千円)									
	謝礼		12		人	798									
	運営事務費(通信費、消耗品)		1		式	38									
	その他 ()					0									

平成19年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 817 枝番号

18年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 18年度達成率%	180.6	活動指標(2)の 18年度達成率%	56.7	18年度予算 執行率%	97.0
		委員ひとりひとりの公益的活動と協働する「車座トーク」は、区民と区民、区民と行政、課題と課題をつなぐくみとしての事業展開ができた。また、「社会教育セミナー」への参画により、車座委員と主催団体及び講座参加者の対話を生み出し、単に団体活動者の増加に止まらず、まちの課題を自らの関心に引き付けて考える機会提供を行った。その結果、高い執行状況を実現した。					
前年度の改革案の取り組み状況 (19年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		幅広い区民の参画を得た委員会活動を目指し、委員会公募の過程を公開するとともに、その過程そのものを学習素材とする取り組みを継続している。また車座の車座トーク開催により、まずは気軽に参加・発言してもらおう場をつくり、またそうした場に参加した区民に対し、委員会へのオブザーバー参加をうながした。					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	社会教育事業における区民の参画と協働を進めるため、13年度末に設置。参画と協働に関しての取り組みは、全庁的な動きとなってきている。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	行政主催の事業に意見を述べるだけでなく、自ら行動に移せる委員会の設置が評価されている。一方で実践に裏打ちされた行政計画作りの視点から、社会教育行政における付属機関である「社会教育委員の会議」の動向を見守る必要がある。					
	今後の予測	実施計画及びスマート計画により、全庁的に「地域人材育成協働システムの構築」が進められている。こうした動きと連動し、人材育成分野で地域ニーズと行政ニーズの調整・実践にあたっている委員会の役割は重要になってくる。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きい 貢献度 大(理由)	理由:生涯学習社会の実現のためには、区内で社会教育活動を実践している団体や個人の意見を反映させることが不可欠である。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できる(^)	理由または具体的内容:					
	成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)	理由または具体的内容:委員ひとりひとりの公益的活動との協働を推進することや「社会教育セミナー」の枠組みを活用することで、区民の学習機会の増大を図ることができる。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容:既に見直しをおこなっており、コストを下げる余地は現時点ではない。					
(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容:既に見直しをおこなっており、コストを下げる余地は現時点ではない。						
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	協働等の今後のあり方:	<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄				
	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(^)	協働等による成果と課題 :委員の公募及び選考過程の公開、会議の公開により、委員会運営の透明性が高まった。					
	(3) 協働等の形態 協働[実行委員会・協議会](具体的内容)						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 個々の委員の活動から積極的に議題を提案してもらうとともに、センターのさまざまな事業における課題を議題にあげていくなど、委員会運営における協働をさらに試行・実践するとともに、その成果を「社会教育セミナー」等の事業を活用しながら発信することで、地域づくりにつながる学習の機会の開拓と人材の発掘をすすめる。	
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 委員会活動目的の共通理解を深めるため、成果の発信を積極的に行うためのIT化や区民のニーズを拾い上げる「しくみ」づくりを進めていく。また委員会運営の試行・実践を支える委員や職員の意識づくりもすすめる。	
20年度方針	(1) 20年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減な <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由 委員会は活発に行われており、次期委員選考について公募と推薦のバランスをとり、委員会の継続性と公開性を高めながら、引き続き運営を充実させていく。また、委員会での話し合いの成果を反映し実施に深く関わっている「社会教育セミナー」に関しては、委員会との関係をより明確にしていく。	

平成19年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名			にほんご教室				整理番号	818	枝番号				
担当部課名			教育委員会事務局社会教育スポーツ課		コード	601616	連絡先電話番号	4712	昨年度整理番号	826	昨年度枝番号		
係名			社会教育センター		上位施策名				No				
予算事業名			成人教育		コード	81800	生涯学習環境の整備・充実				62		
事務事業の概要	事業開始年度			○昭和 ●平成		3年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野		政策番号		<input type="checkbox"/> 施策番号	事業コード
	事業の種類			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理				<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業					
	対象			<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他				根拠法令等		(1) 社会教育法第5条 (2) にほんご教室実施要綱 (3)			
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)			セシオン杉並で日常生活に必要な基本的な会話や読み書きをレベル別クラスレッスンで学ぶ。 *年間3期、各期20回、各期4クラス				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)		日常生活に支障のない程度の日本語能力と日本に関する知識を習得する。			
	活動指標名(式)			(1) 年間開催数 (2) 参加者数(年間延べ)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標		(1) レベルアップまたはクラス卒業者数 (2)			
指標	区分		単位	16年度実績	17年度		18年度		19年度計画	目標値22年度	目標値に対する18年度の達成率%		
	活動指標(1)		回	60	60	60	60	60	60	60	100.0		
	活動指標(2)		人	136	120	109	120	132	120	125	105.6		
	成果指標(1)		人	120	108	78	108	132	108	108	122.2		
	成果指標(2)												
総事業費・コスト把握	事業費		千円	689	735	580	735	671	729	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)			
	(内) 投資的経費等		千円										
	(内) 委託費		千円										
	職員数(常勤 非常勤)		人	0.63 0.33	0.58 0.33	0.53 0.30	0.50 0.20	0.60 0.20	0.50 0.20				
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	5,733	5,255	4,802	4,530	5,436	4,530			
		非常勤職員分		千円	950	954	867	566	566	566			
	総事業費 ++		千円	7,372	6,944	6,249	5,831	6,673	5,825				
	単位あたりコスト(-)÷		円	122,867	115,733	104,150	97,183	111,217	97,083				
	財源	受益者負担分		千円									
		国・都等からの支出金		千円									
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0	0					
差引: 一般財源 -		千円	7,372	6,944	6,249	5,831	6,673	5,825					
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
18年度の主な取組み			内 容					規模	単位	事業費(千円)			
			託児謝礼					60	回	545			
			事務費(需用費、役務費等)					1	式	126			
			その他 ()							0			

平成19年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 818 枝番号

18年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 18年度達成率%	100.0	活動指標(2)の 18年度達成率%	110.0	18年度予算 執行率%	91.3
		ほぼ計画通り執行した。					
前年度の改革案の取り組み状況 (19年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		ここ数年、定着した各期終了後のイベントが、毎回参加者もアイデアを出し合っている。イベントが仲間作りの場や他のクラスの生徒との交流を深めている。					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	外国人登録者数 平成15年8月 11,390人 平成16年8月 11,495人 平成17年5月 10,910人 平成18年5月 10,783人 平成19年5月 10,914人					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	・費用が安い。・講義が判り易い。・仲間作りができる。・託児がある。・昼間の時間帯もやって欲しい。・より高度の内容のクラスが欲しい。					
	今後の予測	昼間の時間帯の教室開設等の要望が強まると予想される。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: ボランティア団体との協働により、日本語の学習機会を提供し、外国人の日本語能力の向上に役立っている。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる()	理由または具体的内容:					
	成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)	理由または具体的内容: 受講生が授業により満足できるよう教材等に工夫を凝らす。また、イベントを開催する機会を設けて、楽しみながら学べる工夫をすると共に、外国人の仲間づくりに役立てる。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 受講料2,000円で足りている(参加費(各期)2,000円はボランティア団体との協定に基づいている。なお、参加費は団体が直接徴収している。)					
(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 予算の約8割が託児の謝礼金である。受講者によっては、託児があるから参加可能である人も多いので、コストを下げる余地は少ない。						
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(^)	協働等による成果と課題 ボランティア団体、文化交流課等関係する機関との情報の共有、提供できる環境を整える。					
	(3) 協働等の形態 協働[事業協力](具体的内容)						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 現状を維持しつつ、講座の中にイベント等を開催し、単に語学教室という役割だけでなく、仲間づくり等の場として活用していく。 昼間コースの実現可能性について、ボランティア団体等と協議していく。 前年度に引き続き参加者の要望(昼間の講座、個人レッスン等)に関する情報提供が可能になるよう、各方面との情報ネットワークづくりを図っていく。	
20年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 昼間コース新設に関し、ボランティア団体との協議、及び新設に伴う予算増。	
	(1) 20年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
(2) 理由 引き続き同規模にて実施。		

平成19年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		すぎなみ大人塾				整理番号	819		枝番号			
担当部課名		教育委員会事務局社会教育スポーツ課		コード	601616	連絡先電話番号	4712		昨年度整理番号	816	昨年度枝番号	
係名					社会教育センター			上位施策名		No		
予算事業名					成人教育			コード		81800	生涯学習環境の整備・充実	62
事務事業の概要	事業開始年度		○ 昭和 ● 平成		18 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野		政策番号	施策番号	事業コード	
	事業の種類		<input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業					
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		一般区民		根拠法令等		(1) 社会教育法第5条 (2) 杉並区立社会教育センター条例 (3) 杉並区教育ビジョン推進計画			
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		「自分を振り返り、社会とのつながりを見つける“大人の放課後”」をキャッチフレーズに、昼夜2コースの年間を通した成人対象の連続講座及びゲスト講師による公開講座を開催。		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)		「自分たちで自分のまちをつくる」意識と活力の向上					
	活動指標名(式)		(1) コース参加者数 (2) 公開講座参加者数		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標		(1) 自治活動移行率(自主ゼミ参加者数 ÷ コース参加者数) (2) 意識啓発率(公開講座参加者数 ÷ 公開講座募集数)					
指標	区分	単位	16年度実績	17年度		18年度		19年度計画	目標値22年度	目標値に対する18年度の達成率%		
	活動指標(1)	人				60	52	60	60	86.7		
	活動指標(2)	人				220	258	240	240	107.5		
	成果指標(1)	%				50	35	50	50	70.0		
	成果指標(2)	%				100	117	100	100	117.0		
総事業費・コスト把握	事業費	千円				3,305	2,610	3,302	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)			
	(内) 投資的経費等	千円										
	(内) 委託費	千円				270	270	270				
	職員数(常勤 非常勤)	人					1.00 0.30	1.00 0.40	1.20 0.40	平成17年度は、事業形態の検討がずれ込んだため、すぎなみコミュニティーカレッジの枠組みを利用して試行実施とした。		
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	0	0	0	9,060	9,060	10,872			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	849	1,132	1,132			
	総事業費 + +	千円	0	0	0	13,214	12,802	15,306				
	単位あたりコスト(-) ÷	円				220,233	246,192	255,100				
	財源	受益者負担分	千円				0	0	0			
		国・都等からの支出金	千円				0	0	0			
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0	0				
差引: 一般財源 -		千円	0	0	0	13,214	12,802	15,306				
受益者負担比率 ÷	%				0.0	0.0	0.0					
18年度の主な取組み	内 容		規 模		単 位	事業費(千円)						
	講座開催		2		コース	2,300						
	生涯学習情報提供		12		講座	310						
	その他 ()					0						

平成19年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 819 枝番号

18年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 18年度達成率%	86.7	活動指標(2)の 18年度達成率%	117.3	18年度予算 執行率%	79.0
		新規事業として、おおむね計画通りの実施となった。					
前年度の改革案の取り組み状況 (19年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		地域の自治的な活動を通して実践的・自発的に学び合う場として「地域の大人塾」開催を計画化した。					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	第8期社会教育委員の会議答申「自分たちで自分のまちをつくる社会教育」において、「指導者やボランティアとしての活動だけでなく、クラブ運営の支援や地域づくりへつなげていくコーディネート力」等の育成プログラムが求められ、その状況に変わりはない。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	自己啓発の場・情報収集の場・思考の場 / 杉並への理解と、地域活動を考える入り口 / ほかの価値感に触れ、視野が広がる / 地域に目を向けるスタートポイント / 地域貢献への足がかり / 快適に生活できるまちづくりを考えるようになれる / 自分の夢を形にする第一歩					
	今後の予測	主に、個別課題に対応した人材育成、行政ニーズを中心とした講座テーマ設定、をしている「すぎなみ地域大学」と密な情報共有をしながら、最大限の効果を求める人材発掘・育成のしくみづくりの必要性が高まる。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 学校区の自治力向上を図るため、これまで以上に新たな役割を担う人材の育成が必要となっている。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由) 成果向上のための方策	理由または具体的内容: コース数の増加等、事業量の拡大を図ることなく成果を向上させることは、事業が定着していない現状では難しいと思われる。 理由または具体的内容:					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 新たな役割を担う人材を広く発掘するために、行っている講座であるため、参加費徴収の予定はない。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 主に謝礼等が中心のため、現在のレベルの講師陣を揃えるには、コストを下げる余地がない。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 一部実現している(^)	協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者(^)	協働等による成果と課題 : 民間人アドバイザーによる運営に関する助言を生かすことで、人材発掘に向けた多様な情報発信を行っている。					
	(3) 協働等の形態 協働[その他](具体的内容)						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 「すぎなみ大人塾」の成果を確かなものとしていくため、地域の自治的な活動を通して実践的・自発的に学び合う場として「地域の大人塾」開催を進めていく。	
20年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 地域の拠点としての学校施設整備。	
	(1) 20年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減な <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
(2) 理由 平成19年度は、地区教育委員会のモデル地区が定まり、学校区を意識した地域の自治的な活動支援はますます必要となる。そうしたなかで総合的なコーディネート力をもつ人材発掘・育成はその中心的な課題となる。		